

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2020年1月14日提出
【発行者名】	三菱UFJ国際投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松田 通
【本店の所在の場所】	東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【電話番号】	03-6250-4740
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし
	米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり
	1兆円を上限とします。
	米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし
	1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2019年7月12日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）について有価証券報告書の提出に伴う関係情報の更新等を行うため、本訂正届出書を提出します。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部__は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書の更新後の内容を示します。

なお、「第二部 ファンド情報 第1 ファンド状況 5 運用状況」、「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」は原届出書の更新後の内容を記載します。

第一部【証券情報】

(5)【申込手数料】

<訂正前>

申込価額（発行価格）×3.24%（税抜 3.00%）を上限として販売会社が定める手数料率
消費税率が10%となった場合は、3.30%（税抜 3.00%）となります。

申込手数料は販売会社にご確認ください。

申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）があり、分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）の場合、再投資される収益分配金については、申込手数料はかかりません。（販売会社により名称が異なる場合があります。以下同じ。）

<訂正後>

申込価額（発行価格）×3.30%（税抜 3.00%）を上限として販売会社が定める手数料率

申込手数料は販売会社にご確認ください。

申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）があり、分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）の場合、再投資される収益分配金については、申込手数料はかかりません。（販売会社により名称が異なる場合があります。以下同じ。）

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(3)【ファンドの仕組み】

< 訂正前 >

委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。

委託会社の概況（2019年4月末現在）

- ・金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・設立年月日
1985年8月1日
- ・資本金
2,000百万円
- ・沿革
1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に変更
2015年7月 三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱UFJ国際投信株式会社に変更
- ・大株主の状況

株主名	住所	所有株式数	所有比率
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

< 訂正後 >

委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。

委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。
--------------------------------------	---

委託会社の概況(2019年10月末現在)

- ・金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
- ・設立年月日
1985年8月1日
- ・資本金
2,000百万円
- ・沿革
1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に変更
2015年7月 三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱UFJ国際投信株式会社に変更
- ・大株主の状況

株主名	住所	所有株式数	所有比率
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

2【投資方針】

(2)【投資対象】

<更新後>

米ドル建の外国投資信託であるUSエネルギーMLPファンドの受益証券を主要投資対象とします。また、マネー・プール マザーファンドの受益証券へも投資を行います。

投資の対象とする資産の種類

ファンドにおいて投資の対象とする資産の種類は、次に掲げる特定資産(投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。)とします。

- a. 有価証券
- b. 約束手形
- c. 金銭債権

運用の指図範囲

委託会社は、信託金を、主として、米ドル建の外国投資信託であるUSエネルギーMLPファンドの受益証券のほか、三菱UFJ国際投信株式会社を委託者とし、三菱UFJ信託銀行株式会社を受託者として締結されたマネー・プール マザーファンドの受益証券および次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。)に投資することを指図します。

- a. 国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券および社債券(新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券および短期社債等を除きます。)
- b. コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等
- c. 外国または外国の者の発行する証券または証書で、a. およびb. の証券または証書の性質を有するもの

d. 指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。)

a. の証券およびc. の証券または証書のうちa. の証券の性質を有するものを以下、「公社債」といい、公社債に係る運用の指図は債券買い現先取引(売戻条件付の買入れ)および債券貸借取引(現金担保付き債券借入れ)に限り行うことができるものとします。
金融商品の指図範囲

委託会社は、信託金を、前記 の有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することを指図することができます。

a. 預金

b. 指定金銭信託(金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。)

c. コール・ローン

d. 手形割引市場において売買される手形

特別な場合の金融商品による運用

前記 の規定にかかわらず、ファンドの設定、解約、償還への対応および投資環境の変動等への対応で、委託会社が運用上必要と認めるときには、委託会社は、信託金を、前記のa. からd. までに掲げる金融商品により運用することの指図ができます。

(参考)各ファンドが投資対象とする投資信託証券の概要

ファンド名称	USエネルギーMLPファンド
形態等	ケイマン籍/外国投資信託受益証券/米ドル建
目的及び基本的性格	安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
投資の基本方針	主にエネルギーや天然資源に関連するMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)等*を主要投資対象とします。 * MLP等には、MLPの出資持分のほか、MLPと実質的に同様の経済的な特徴を有するLLC(リミテッド・ライアビリティ・カンパニー)の出資持分、MLPに投資することにより主たる収益を得る企業の株式、およびMLPに関連するその他の証券を含みます。
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等を主要投資対象とします。ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金(株式に投資した場合における配当等を含みます)の増加が見込まれる銘柄等に投資を行います。 ※エネルギーや天然資源関連以外のMLP等にも投資を行う場合があります。 ・MLP等の組入比率は、原則として高位を維持します。 ・個別証券の投資割合は、純資産総額の10%以内とします。
投資顧問会社	ニューバーガー・パーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー (Neuberger Berman Investment Advisers LLC)
信託期限	無期限
設定日	2013年6月28日
会計年度末	毎年12月末
収益分配	原則として、毎月分配を行います。
信託(管理)報酬	純資産総額に対して年率0.92%程度 (運用報酬:年率0.80%、管理費用:年率0.12%程度) ※上記の信託(管理)報酬の他、信託財産に関する租税、組入れているMLP等の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査に要する費用、ファンド設立に係る費用、法律関係の費用、税務処理に関する費用、資産の保管等に要する費用、借入金の利息および立替金の利息等も投資信託の信託財産から支弁されます。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込受付日の1口当たり純資産価格の0.3%

「ニューバーガー・パーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー」について

ニューバーガー・パーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー(所在地:米国)は、ニューバーガー・パーマン・グループの一員であり、同グループの運用会社としての機能を有します。ニューバーガー・パーマン・グループは、1939年創業の独立系運用会社であり、米国、英国、香港等に運用拠点を置き、株式、債券、オルタナティブ資産運用等を世界の機関投資家や富裕層向けに提供しています。(2019年10月末現在)

名称	マネー・プール マザーファンド
形態等	適格機関投資家私募
運用の基本方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。

投資態度	<p>わが国の公社債に投資し、常時適正な流動性を保持するように配慮します。</p> <p>わが国の政府および日本銀行が発行もしくは保証する資産以外の有価証券への投資にあたっては、原則として組入時において1社以上の信用格付業者等より、以下の信用格付条件を1つ以上満たすものに投資します。</p> <p>(ア) A - 2 格相当以上の短期信用格付 (イ) A 格相当以上の長期信用格付 (ウ) 信用格付がない場合、委託会社が上記(ア)、(イ)と同等の信用力を有すると判断したもの</p> <p>投資する有価証券または金融商品は、主として残存期間または取引期間が1年以内のものとしします。</p> <p>投資するわが国の政府および日本銀行が発行もしくは保証する資産以外の有価証券は、純資産総額に対し1発行体あたり原則1%を組入れの上限とします。ただし、2社以上の信用格付業者等からAA格相当以上の長期信用格付またはA-1格相当の短期信用格付のいずれかを受けているもの、もしくは信用格付のない場合には委託会社が当該信用格付と同等の信用度を有すると判断した有価証券においてのみ、純資産総額に対し1発行体あたり原則5%を組入れの上限とします。</p> <p>資金動向、市況動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。</p>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式への投資は、転換社債の転換請求および転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得した株券に限り、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建資産への投資は行いません。
申込手数料	ありません。
信託報酬	かかりません。
信託期限	無期限
設定日	2009年9月29日
決算日	1月14日および7月14日(休業日の場合は翌営業日とします。)
主な関係法人	<ul style="list-style-type: none"> 委託会社：三菱UFJ国際投信株式会社 受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社

3【投資リスク】

<更新後>

(1) 投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

(主なリスクであり、以下に限定されるものではありません。)

価格変動リスク

ファンドは、主要投資対象とする外国投資信託への投資を通じて、実質的に主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等に投資を行います。そのため、投資対象の事業から得られる収入、MLP等の市況、市場金利の変動等の影響を受けることとなり、MLP等の価格が変動すればファンドの基準価額の変動要因となります。

為替変動リスク

<為替ヘッジあり>

主に米ドル建の外国投資信託に投資しますので、為替変動リスクが生じます。米ドル建資産（外国投資信託）については、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、設定や解約等の資金動向、為替ヘッジのタイミングおよび範囲、ならびに市況動向等の要因により、完全に為替変動リスクを排除することはできません。また、円金利が米ドル金利より低い場合、円と米ドルとの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

<為替ヘッジなし>

主に米ドル建の外国投資信託に投資しますので、米ドルが円に対して強く（円安に）なれば基準価額の上昇要因となり、弱く（円高に）なれば基準価額の下落要因となります。

流動性リスク

実質的な投資対象であるMLP等を売却あるいは購入しようとする際に、買い需要がなく売却不可能、あるいは売り供給がなく購入不可能等となるリスクのことをいいます。例えば、市況動向やMLP等の流通量等の状況、あるいは解約金額の規模によっては、組入れているMLP等を市場実勢よりも低い価格で売却しなければならないケースが考えられ、この場合には基準価額の下落要因となります。一般的に、MLP等は株式等に比べ市場規模や取引量が小さく、投資環境によっては機動的な売買が行えないことがあります。

特定の事業への集中投資リスク

ファンドは、実質的に主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等に集中的に投資を行います。そのため、エネルギーや天然資源の需給関係、技術進歩、経済的・政治的事由および戦争・テロ等の影響を受け、MLP等の価格が変動した場合には、ファンドの基準価額が大幅に変動することがあります。

MLP固有のリスク

- a . MLPは、一般的に収入の大部分を出資者に分配するため、内部留保される資金額が限定されます。新たな事業への投資にあたっては、外部から資金を調達する場合があります。財務内容が良好でないと判断されたMLPは、外部からの資金調達が困難となったり、価格が下落することがあります。
- b . MLPの経営陣等による事業の運営管理手法等が、MLPの収益力や財務内容の悪化を招きMLPの価格形成等に影響を与えることがあります。

その他の主な留意点

- a . 米国のMLP保有に伴う外国投資信託における税務手続きについて

◀米国のMLP保有に伴う外国投資信託における税務手続きについて▶

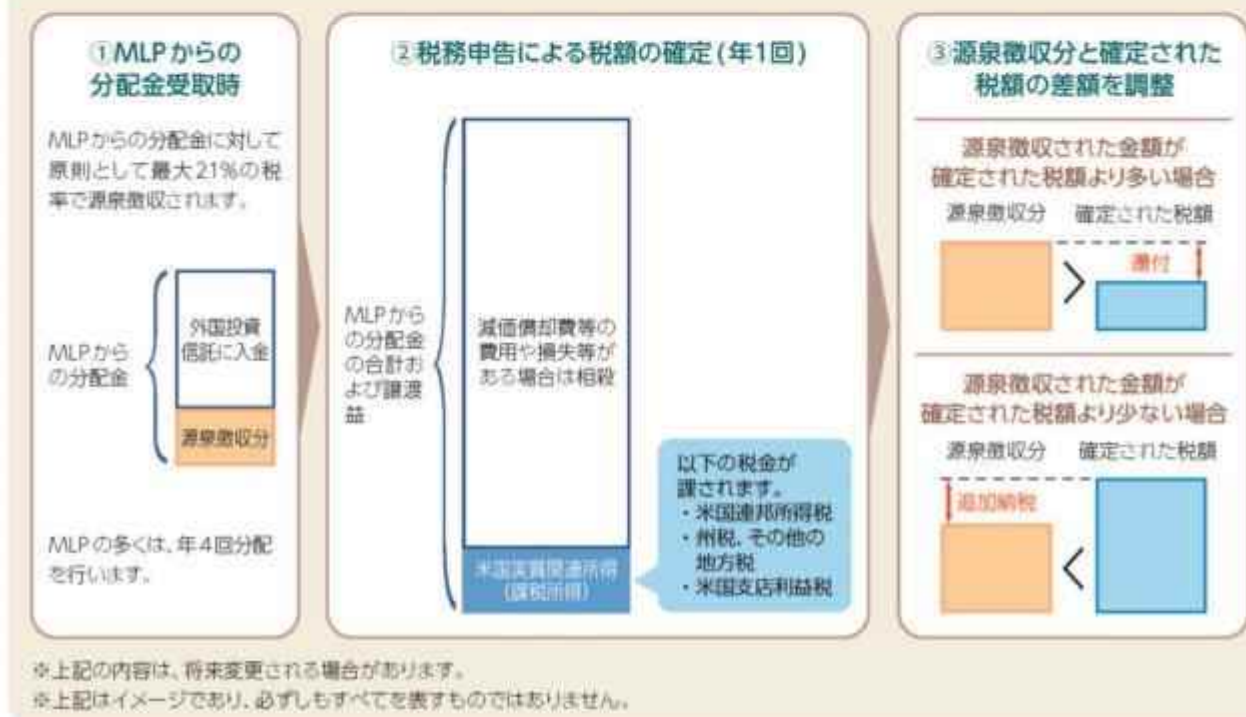
- ・当ファンドが投資する外国投資信託（本項において「外国投資信託」といいます。）が籍を置くケイマン諸島は、米国との間に租税条約がなく、外国投資信託の行う米国への投資による収益について軽減税率は適用されません。
- ・米国の連邦税法上、MLPは一般的にパートナーシップとして扱われ、MLPの段階では連邦所得税が課税されず、MLPを保有する各パートナー（出資者）の段階において課税されます。なお、外国投資信託の保有するMLPが今後または過去に遡及して米国連邦税法上のパートナーシップとしてのステータスを失うことにより、外国投資信託のMLPへの投資による収益の減少をもたらす可能性があります。
- ・外国投資信託は保有するMLPのパートナーとして、その持分に応じて、MLPの収入、損失、費用等が割り当てられ、MLPからの分配金の受取りの有無にかかわらず、課税所得となる米国実質関連所得に対して以下の税金がかかります。
 - 米国連邦所得税（米国実質関連所得に対して最大21%）
 - 州税、その他の地方税
 - 米国支店利益税（米国実質関連所得から米国連邦所得税を控除した額に対して30%）

※米国支店利益税の課税対象額は、外国投資信託の純資産のうち米国に投資される部分の増減によっても変動します。

過去の実績においては、MLPからの収入の大部分は減価償却費等の費用や損失等で相殺され、米国実質関連所得は比較的抑えられてきました。しかしながら、米国実質関連所得は様々な理由で変動します。例えば、保有するMLPの投資活動の大幅な減速による減価償却費の減少は、米国実質関連所得の増加につながる可能性があり、この米国実質関連所得の増加は外国投資信託における支払い税額の増加と純資産の減少につながります。

- ・外国投資信託における上述の税額は、税務申告することで初めて確定します。外国投資信託では、MLPからの分配金に対して原則として最大21%の税率で源泉徴収されますが、その後、年1回税務申告を行い税額を確定することで、既に源泉徴収されている税と適切な調整が行われます。源泉徴収された金額が確定された税額より多い場合には還付を受け、源泉徴収された金額が確定された税額より少ない場合には追加納税となります。このように、外国投資信託が税務申告を行ったうえで確定される税額は源泉徴収された金額と異なることがあるため、税額が確定した時点において外国投資信託の純資産が変動し、この結果、当ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

外国投資信託における米国のMLPにかかる税金処理プロセスのイメージ



- ・なお、MLPからの分配金のうち、投資元本の払戻しに相当する部分については、これによって外国投資信託におけるMLPの取得原価が引下げられ、将来の譲渡益の増加につながる可能性があります。

※（米国のMLP保有に伴う外国投資信託における税務手続きについて）は、2019年10月末現在、委託会社が確認できる情報に基づいたものです。現地の税制が変更された場合等には、税率等が変更になることがあります。

- b. 実質的な投資対象であるMLP等に適用される法律や税制、規制が変更されたり、新たな法律や税制、規制が適用された場合には、ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。
- c. 主要投資対象とする投資信託証券が存続しないこととなった場合には、繰上償還され

ます。また、各ファンドについて、受益権の総口数が10億口を下ることとなった場合または各ファンドの受益権の総口数を合計した口数が20億口を下ることとなった場合等には、信託期間中であっても償還されることがあります。

- d. 法令、税制および会計制度等は、今後変更される可能性があります。
- e. 各ファンドの信託財産の資金管理を円滑に行うため、原則として1日1件5億円を超える換金は行えないものとします。また、市況動向等により、これ以外にも大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
- f. 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

(2) 投資リスクに対する管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、定期的に関催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。この内容は運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

具体的な、投資リスクに対するリスク管理体制は以下の通りです。

トレーディング担当部署

有価証券等の売買執行および発注に係る法令等の遵守および監視・牽制を行います。

コンプライアンス担当部署

法令上の禁止行為、約款の投資制限等のモニタリングを通じ、法令等遵守状況を把握・管理し、必要に応じて改善の指導を行います。

リスク管理担当部署

運用リスク全般の状況をモニタリング・管理するとともに、運用実績の分析および評価を行い、必要に応じて改善策等を提言します。また、事務・情報資産・その他のリスクの統括的管理を行っています。

内部監査担当部署

委託会社のすべての業務から独立した立場より、リスク管理体制の適切性および有効性について評価を行い、改善策の提案等を通して、リスク管理機能の維持・向上をはかります。

< 流動性リスクに対する管理体制 >

流動性リスクは、運用部門で市場の流動性の把握に努め、投資対象・売買数量等を適切に選択することによりコントロールしています。また、運用部門から独立したリスク管理担当部署においても流動性についての情報収集や分析・管理を行い、この結果はリスク管理に関する会議体等に報告されます。

* 組織変更等により、前記の名称および内容は変更となる場合があります。

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

為替ヘッジあり

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

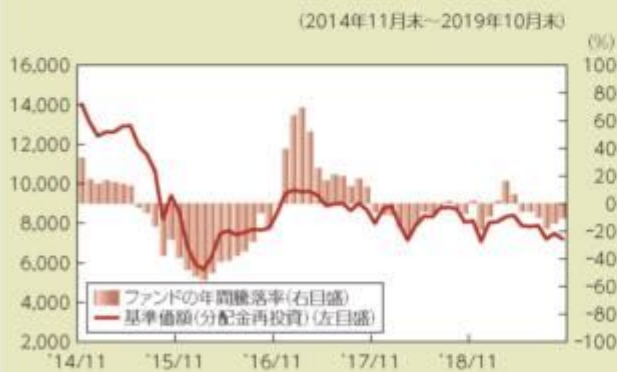


(注)全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

為替ヘッジなし

● ファンドの年間騰落率および基準価額(分配金再投資)の推移



● ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注)全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

代表的な資産クラスの指数について

資産クラス	指数名	注記等
日本株	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・ インデックス(配当込み)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPI(国債)とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(総合)のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)	FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

4【手数料等及び税金】

(1)【申込手数料】

<訂正前>

申込価額（発行価格）×3.24%（税抜 3.00%）を上限として販売会社が定める手数料率
消費税率が10%となった場合は、3.30%（税抜 3.00%）となります。

申込手数料は販売会社にご確認ください。

申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（自動けいぞくコース）があり、分配金再投資コース（自動けいぞくコース）の場合、再投資される収益分配金については、申込手数料はかかりません。

申込手数料の対価として提供する役務の内容は、ファンドおよび投資環境の説明・情報提供、購入に関する事務手続等です。

<訂正後>

申込価額（発行価格）×3.30%（税抜 3.00%）を上限として販売会社が定める手数料率

申込手数料は販売会社にご確認ください。

申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（自動けいぞくコース）があり、分配金再投資コース（自動けいぞくコース）の場合、再投資される収益分配金については、申込手数料はかかりません。

申込手数料の対価として提供する役務の内容は、ファンドおよび投資環境の説明・情報提供、購入に関する事務手続等です。

（３）【信託報酬等】

<訂正前>

- a. 信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年1.1664%（税抜1.0800%）の率を乗じて得た額とし、日々ファンドの基準価額に反映されま
す。信託報酬は消費税等相当額を含みます。

消費税率が10%となった場合は、年1.1880%（税抜1.0800%）となります。

1万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額 × 信託報酬率 × （保有日数 / 365）

上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- b. 信託報酬は、毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。

信託報酬の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。

支払先	配分（税抜）	対価として提供する役務の内容
委託会社	0.3500%	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等
販売会社	0.7000%	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等
受託会社	0.0300%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

前記のほかに各ファンドが投資対象とする投資信託証券に関しても信託（管理）報酬等がかかります。

受益者が負担する実質的な信託報酬率^{*}は、年率2.0864%程度（税込）（年率2.0000%程度（税抜））です。

消費税率が10%となった場合は、年率2.1080%程度（税込）（年率2.0000%程度（税抜））となります。

- * 前記の実質的な信託報酬率は、投資対象とする「USエネルギーMLPファンド」における信託（管理）報酬率（運用報酬：年率0.80%、管理費用：年率0.12%程度）を含めた実質的な報酬率を算出したものです。ただし、管理費用には下限の金額が設定されており、投資信託証券の純資産総額等によっては、上記の実質的な信託報酬率を超える場合があります。

前記のほか、投資対象とする投資信託証券における、信託財産に関する租税、組入れているMLP等の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査に要する費用、ファンド設立に係る費用、法律関係の費用、税務処理に関する費用、資産の保管等に要する費用、借入金の利息および立替金の利息等も投資信託の信託財産から支弁されます。

なお、マネー・プール マザーファンドには、信託報酬はかかりません。

<訂正後>

- a. 信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年1.1880%（税抜1.0800%）の率を乗じて得た額とし、日々ファンドの基準価額に反映されま
す。信託報酬は消費税等相当額を含みます。

1万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額×信託報酬率×（保有日数／365）

上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

b．信託報酬は、毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。信託報酬の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。

支払先	配分（税抜）	対価として提供する役務の内容
委託会社	0.3500%	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等
販売会社	0.7000%	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等
受託会社	0.0300%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

前記のほかに各ファンドが投資対象とする投資信託証券に関しても信託（管理）報酬等がかかります。

受益者が負担する実質的な信託報酬率^{*}は、年率2.1080%程度（税込）（年率2.0000%程度（税抜））です。

* 前記の実質的な信託報酬率は、投資対象とする「USエネルギーMLPファンド」における信託（管理）報酬率（運用報酬：年率0.80%、管理費用：年率0.12%程度）を含めた実質的な報酬率を算出したものです。ただし、管理費用には下限の金額が設定されており、投資信託証券の純資産総額等によっては、上記の実質的な信託報酬率を超える場合があります。

前記のほか、投資対象とする投資信託証券における、信託財産に関する租税、組入れているMLP等の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査に要する費用、ファンド設立に係る費用、法律関係の費用、税務処理に関する費用、資産の保管等に要する費用、借入金の利息および立替金の利息等も投資信託の信託財産から支弁されます。

なお、マネー・プール マザーファンドには、信託報酬はかかりません。

（５）【課税上の取扱い】

<訂正前>

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

1．収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（配当控除は適用されません。）・申告分離課税を選択することもできます。

2．解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失(譲渡損)については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得(申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。)との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得・譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%)の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等(申込手数料(税込)は含まれません。)が当該受益者の元本(個別元本)にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2019年4月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

<訂正後>

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

1. 収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金(特別分配金)は課税されません。

原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。なお、確定申告を行い、総合課税(配当控除は適用されません。)・申告分離課税を選択することもできます。

2. 解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得・譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

分配時において、外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は2019年10月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり】

(1) 【投資状況】

令和 1年10月31日現在

(単位 : 円)

資産の種類	国 / 地域	時価合計	投資比率 (%)
投資信託受益証券	アメリカ	4,980,451,353	97.82
親投資信託受益証券	日本	1,000,299	0.02
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		109,830,772	2.16
純資産総額		5,091,282,424	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

(2) 【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位 30 銘柄

令和 1年10月31日現在

国 / 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
アメリカ	投資信託受益証券	USエネルギーMLPファンド	11,734,882,775	0.43	5,063,501,466	0.42	4,980,451,353	97.82
日本	親投資信託受益証券	マネー・プール マザーファンド	996,215	1.0041	1,000,299	1.0041	1,000,299	0.02

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

令和 1年10月31日現在

種類	投資比率 (%)
投資信託受益証券	97.82
親投資信託受益証券	0.02
合計	97.84

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

（3）【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和1年10月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

（単位：円）

	純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1計算期間末日 (平成25年 8月13日)	1,617,725,977	1,617,725,977	9,984	9,984
第2計算期間末日 (平成25年 9月13日)	1,744,411,210	1,744,411,210	9,813	9,813
第3計算期間末日 (平成25年10月15日)	1,905,201,616	1,910,920,139	9,995	10,025
第4計算期間末日 (平成25年11月13日)	1,929,632,390	1,935,450,557	9,950	9,980
第5計算期間末日 (平成25年12月13日)	1,882,746,171	1,888,534,491	9,758	9,788
第6計算期間末日 (平成26年 1月14日)	1,886,939,115	1,892,517,418	10,148	10,178
第7計算期間末日 (平成26年 2月13日)	1,919,909,542	1,925,490,881	10,320	10,350
第8計算期間末日 (平成26年 3月13日)	1,857,214,162	1,862,634,826	10,279	10,309
第9計算期間末日 (平成26年 4月14日)	2,140,721,775	2,146,885,959	10,419	10,449
第10計算期間末日 (平成26年 5月13日)	2,203,750,127	2,209,898,944	10,752	10,782
第11計算期間末日 (平成26年 6月13日)	2,365,395,525	2,431,649,883	10,711	11,011
第12計算期間末日 (平成26年 7月14日)	4,062,476,616	4,073,369,430	11,189	11,219
第13計算期間末日 (平成26年 8月13日)	6,273,720,860	6,290,918,167	10,944	10,974
第14計算期間末日 (平成26年 9月16日)	7,947,186,513	8,477,062,917	10,499	11,199
第15計算期間末日 (平成26年10月14日)	12,002,764,258	12,040,076,508	9,651	9,681
第16計算期間末日 (平成26年11月13日)	13,451,367,611	13,491,400,656	10,080	10,110
第17計算期間末日 (平成26年12月15日)	13,927,176,600	13,974,297,337	8,867	8,897
第18計算期間末日 (平成27年 1月13日)	14,756,124,810	14,805,318,595	8,999	9,029
第19計算期間末日 (平成27年 2月13日)	14,744,958,611	14,792,789,301	9,248	9,278
第20計算期間末日 (平成27年 3月13日)	13,994,391,659	14,042,088,270	8,802	8,832
第21計算期間末日 (平成27年 4月13日)	12,925,182,840	12,967,664,407	9,128	9,158
第22計算期間末日 (平成27年 5月13日)	12,446,785,901	12,487,933,448	9,075	9,105
第23計算期間末日 (平成27年 6月15日)	12,024,191,044	12,066,346,848	8,557	8,587
第24計算期間末日 (平成27年 7月13日)	11,108,248,982	11,148,428,696	8,294	8,324
第25計算期間末日 (平成27年 8月13日)	9,770,759,544	9,808,939,646	7,677	7,707
第26計算期間末日 (平成27年 9月14日)	8,341,568,131	8,378,142,421	6,842	6,872
第27計算期間末日 (平成27年10月13日)	8,344,407,740	8,380,000,848	7,033	7,063
第28計算期間末日 (平成27年11月13日)	6,762,600,628	6,797,069,065	5,886	5,916

第29計算期間末日	(平成27年12月14日)	5,082,895,402	5,116,127,133	4,589	4,619
第30計算期間末日	(平成28年 1月13日)	4,340,761,193	4,373,454,051	3,983	4,013
第31計算期間末日	(平成28年 2月15日)	3,733,965,889	3,765,784,689	3,521	3,551
第32計算期間末日	(平成28年 3月14日)	4,984,456,923	5,018,151,350	4,438	4,468
第33計算期間末日	(平成28年 4月13日)	5,878,096,176	5,914,442,192	4,852	4,882
第34計算期間末日	(平成28年 5月13日)	6,927,830,588	6,965,938,282	5,454	5,484
第35計算期間末日	(平成28年 6月13日)	7,814,282,016	7,856,098,684	5,606	5,636
第36計算期間末日	(平成28年 7月13日)	8,120,785,836	8,162,386,964	5,856	5,886
第37計算期間末日	(平成28年 8月15日)	8,189,985,999	8,231,939,652	5,856	5,886
第38計算期間末日	(平成28年 9月13日)	8,533,922,612	8,577,573,611	5,865	5,895
第39計算期間末日	(平成28年10月13日)	8,513,819,212	8,557,690,793	5,822	5,852
第40計算期間末日	(平成28年11月14日)	8,358,684,962	8,402,221,607	5,760	5,790
第41計算期間末日	(平成28年12月13日)	9,066,100,389	9,110,980,190	6,060	6,090
第42計算期間末日	(平成29年 1月13日)	11,760,681,773	11,816,533,658	6,317	6,347
第43計算期間末日	(平成29年 2月13日)	14,044,141,269	14,107,340,825	6,667	6,697
第44計算期間末日	(平成29年 3月13日)	14,257,854,483	14,325,040,023	6,366	6,396
第45計算期間末日	(平成29年 4月13日)	14,569,468,538	14,637,442,630	6,430	6,460
第46計算期間末日	(平成29年 5月15日)	13,897,518,437	13,964,513,301	6,223	6,253
第47計算期間末日	(平成29年 6月13日)	12,977,186,497	13,043,933,317	5,833	5,863
第48計算期間末日	(平成29年 7月13日)	13,362,782,517	13,430,039,145	5,961	5,991
第49計算期間末日	(平成29年 8月14日)	12,417,002,544	12,481,781,462	5,750	5,780
第50計算期間末日	(平成29年 9月13日)	12,195,887,945	12,258,711,379	5,824	5,854
第51計算期間末日	(平成29年10月13日)	11,748,353,457	11,808,526,915	5,857	5,887
第52計算期間末日	(平成29年11月13日)	10,592,177,868	10,650,489,080	5,449	5,479
第53計算期間末日	(平成29年12月13日)	10,360,481,212	10,417,606,732	5,441	5,471
第54計算期間末日	(平成30年 1月15日)	11,122,173,892	11,178,312,680	5,944	5,974
第55計算期間末日	(平成30年 2月13日)	9,442,956,088	9,496,595,708	5,281	5,311
第56計算期間末日	(平成30年 3月13日)	9,085,070,016	9,138,048,137	5,145	5,175
第57計算期間末日	(平成30年 4月13日)	8,269,930,561	8,321,152,271	4,844	4,874
第58計算期間末日	(平成30年 5月14日)	8,657,501,969	8,708,325,447	5,110	5,140
第59計算期間末日	(平成30年 6月13日)	9,022,328,612	9,072,681,364	5,375	5,405
第60計算期間末日	(平成30年 7月13日)	8,596,895,948	8,646,279,885	5,222	5,252
第61計算期間末日	(平成30年 8月13日)	8,716,320,597	8,763,726,127	5,516	5,546
第62計算期間末日	(平成30年 9月13日)	8,303,474,090	8,350,271,952	5,323	5,353
第63計算期間末日	(平成30年10月15日)	7,830,362,752	7,876,239,100	5,121	5,151
第64計算期間末日	(平成30年11月13日)	7,243,979,842	7,289,185,867	4,807	4,837
第65計算期間末日	(平成30年12月13日)	6,835,805,109	6,880,281,679	4,611	4,641
第66計算期間末日	(平成31年 1月15日)	6,596,351,445	6,640,050,410	4,528	4,558
第67計算期間末日	(平成31年 2月13日)	6,714,125,815	6,757,497,364	4,644	4,674
第68計算期間末日	(平成31年 3月13日)	6,679,689,330	6,722,559,669	4,674	4,704
第69計算期間末日	(平成31年 4月15日)	6,752,208,685	6,794,199,618	4,824	4,854
第70計算期間末日	(令和 1年 5月13日)	6,450,063,642	6,491,667,227	4,651	4,681
第71計算期間末日	(令和 1年 6月13日)	6,094,544,270	6,135,512,181	4,463	4,493

第72計算期間末日 (令和 1年 7月16日)	6,295,312,104	6,335,900,124	4,653	4,683
第73計算期間末日 (令和 1年 8月13日)	5,484,432,331	5,524,211,129	4,136	4,166
第74計算期間末日 (令和 1年 9月13日)	5,428,168,615	5,467,230,447	4,169	4,199
第75計算期間末日 (令和 1年10月15日)	5,193,712,383	5,232,428,304	4,024	4,054
平成30年10月末日	7,147,201,632		4,712	
11月末日	7,060,732,221		4,710	
12月末日	6,098,689,589		4,163	
平成31年 1月末日	6,898,989,940		4,747	
2月末日	6,678,473,260		4,654	
3月末日	6,693,854,226		4,750	
4月末日	6,566,822,928		4,723	
令和 1年 5月末日	6,158,768,761		4,485	
6月末日	6,121,883,354		4,489	
7月末日	5,925,125,063		4,437	
8月末日	5,357,331,366		4,106	
9月末日	5,418,571,005		4,173	
10月末日	5,091,282,424		3,952	

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	円
第2計算期間	円
第3計算期間	30円
第4計算期間	30円
第5計算期間	30円
第6計算期間	30円
第7計算期間	30円
第8計算期間	30円
第9計算期間	30円
第10計算期間	30円
第11計算期間	300円
第12計算期間	30円
第13計算期間	30円
第14計算期間	700円
第15計算期間	30円
第16計算期間	30円
第17計算期間	30円
第18計算期間	30円
第19計算期間	30円
第20計算期間	30円
第21計算期間	30円

第22計算期間	30円
第23計算期間	30円
第24計算期間	30円
第25計算期間	30円
第26計算期間	30円
第27計算期間	30円
第28計算期間	30円
第29計算期間	30円
第30計算期間	30円
第31計算期間	30円
第32計算期間	30円
第33計算期間	30円
第34計算期間	30円
第35計算期間	30円
第36計算期間	30円
第37計算期間	30円
第38計算期間	30円
第39計算期間	30円
第40計算期間	30円
第41計算期間	30円
第42計算期間	30円
第43計算期間	30円
第44計算期間	30円
第45計算期間	30円
第46計算期間	30円
第47計算期間	30円
第48計算期間	30円
第49計算期間	30円
第50計算期間	30円
第51計算期間	30円
第52計算期間	30円
第53計算期間	30円
第54計算期間	30円
第55計算期間	30円
第56計算期間	30円
第57計算期間	30円
第58計算期間	30円
第59計算期間	30円
第60計算期間	30円
第61計算期間	30円
第62計算期間	30円
第63計算期間	30円
第64計算期間	30円

第65計算期間	30円
第66計算期間	30円
第67計算期間	30円
第68計算期間	30円
第69計算期間	30円
第70計算期間	30円
第71計算期間	30円
第72計算期間	30円
第73計算期間	30円
第74計算期間	30円
第75計算期間	30円

【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	0.16
第2計算期間	1.71
第3計算期間	2.16
第4計算期間	0.15
第5計算期間	1.62
第6計算期間	4.30
第7計算期間	1.99
第8計算期間	0.10
第9計算期間	1.65
第10計算期間	3.48
第11計算期間	2.40
第12計算期間	4.74
第13計算期間	1.92
第14計算期間	2.33
第15計算期間	7.79
第16計算期間	4.75
第17計算期間	11.73
第18計算期間	1.82
第19計算期間	3.10
第20計算期間	4.49
第21計算期間	4.04
第22計算期間	0.25
第23計算期間	5.37
第24計算期間	2.72
第25計算期間	7.07
第26計算期間	10.48
第27計算期間	3.23

第28計算期間	15.88
第29計算期間	21.52
第30計算期間	12.55
第31計算期間	10.84
第32計算期間	26.89
第33計算期間	10.00
第34計算期間	13.02
第35計算期間	3.33
第36計算期間	4.99
第37計算期間	0.51
第38計算期間	0.66
第39計算期間	0.22
第40計算期間	0.54
第41計算期間	5.72
第42計算期間	4.73
第43計算期間	6.01
第44計算期間	4.06
第45計算期間	1.47
第46計算期間	2.75
第47計算期間	5.78
第48計算期間	2.70
第49計算期間	3.03
第50計算期間	1.80
第51計算期間	1.08
第52計算期間	6.45
第53計算期間	0.40
第54計算期間	9.79
第55計算期間	10.64
第56計算期間	2.00
第57計算期間	5.26
第58計算期間	6.11
第59計算期間	5.77
第60計算期間	2.28
第61計算期間	6.20
第62計算期間	2.95
第63計算期間	3.23
第64計算期間	5.54
第65計算期間	3.45
第66計算期間	1.14
第67計算期間	3.22
第68計算期間	1.29
第69計算期間	3.85
第70計算期間	2.96

第71計算期間	3.39
第72計算期間	4.92
第73計算期間	10.46
第74計算期間	1.52
第75計算期間	2.75

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	1,639,665,744	19,390,094	1,620,275,650
第2計算期間	157,314,538		1,777,590,188
第3計算期間	141,940,347	13,356,054	1,906,174,481
第4計算期間	50,696,074	17,481,383	1,939,389,172
第5計算期間	60,208,894	70,157,896	1,929,440,170
第6計算期間	27,480,921	97,486,652	1,859,434,439
第7計算期間	17,501,161	16,489,000	1,860,446,600
第8計算期間	32,888,081	86,446,372	1,806,888,309
第9計算期間	336,940,284	89,100,313	2,054,728,280
第10計算期間	92,283,472	97,405,841	2,049,605,911
第11計算期間	250,287,797	91,415,094	2,208,478,614
第12計算期間	1,530,599,059	108,139,378	3,630,938,295
第13計算期間	2,152,604,343	51,106,947	5,732,435,691
第14計算期間	1,980,116,413	142,889,186	7,569,662,918
第15計算期間	4,938,278,894	70,525,142	12,437,416,670
第16計算期間	1,128,396,944	221,464,959	13,344,348,655
第17計算期間	3,009,360,107	646,796,185	15,706,912,577
第18計算期間	1,102,735,442	411,719,649	16,397,928,370
第19計算期間	288,547,662	742,912,429	15,943,563,603
第20計算期間	885,919,620	930,612,595	15,898,870,628
第21計算期間	248,159,804	1,986,508,048	14,160,522,384
第22計算期間	180,578,050	625,251,191	13,715,849,243
第23計算期間	1,209,963,516	873,878,037	14,051,934,722
第24計算期間	309,796,794	968,493,217	13,393,238,299
第25計算期間	134,160,214	800,697,620	12,726,700,893
第26計算期間	130,641,035	665,911,791	12,191,430,137
第27計算期間	49,844,985	376,905,468	11,864,369,654
第28計算期間	80,496,202	455,386,804	11,489,479,052
第29計算期間	107,357,394	519,592,716	11,077,243,730
第30計算期間	255,119,140	434,743,328	10,897,619,542
第31計算期間	705,789,936	997,142,701	10,606,266,777
第32計算期間	1,116,890,797	491,681,596	11,231,475,978

第33計算期間	1,293,781,035	409,918,227	12,115,338,786
第34計算期間	1,842,758,949	1,255,532,846	12,702,564,889
第35計算期間	1,718,155,343	481,830,685	13,938,889,547
第36計算期間	776,754,731	848,601,460	13,867,042,818
第37計算期間	706,095,160	588,586,919	13,984,551,059
第38計算期間	939,715,333	373,933,142	14,550,333,250
第39計算期間	625,631,951	552,104,719	14,623,860,482
第40計算期間	628,981,743	740,627,104	14,512,215,121
第41計算期間	1,631,312,011	1,183,593,298	14,959,933,834
第42計算期間	4,381,389,355	724,028,020	18,617,295,169
第43計算期間	4,232,677,772	1,783,454,137	21,066,518,804
第44計算期間	2,689,788,755	1,361,127,544	22,395,180,015
第45計算期間	1,134,908,415	872,057,650	22,658,030,780
第46計算期間	457,364,604	783,773,923	22,331,621,461
第47計算期間	370,123,231	452,804,679	22,248,940,013
第48計算期間	835,798,568	665,862,412	22,418,876,169
第49計算期間	162,594,122	988,497,482	21,592,972,809
第50計算期間	75,612,659	727,440,723	20,941,144,745
第51計算期間	80,793,229	964,118,543	20,057,819,431
第52計算期間	80,595,695	701,344,428	19,437,070,698
第53計算期間	158,516,030	553,746,701	19,041,840,027
第54計算期間	270,178,206	599,088,619	18,712,929,614
第55計算期間	382,801,294	1,215,857,489	17,879,873,419
第56計算期間	94,031,467	314,530,948	17,659,373,938
第57計算期間	116,994,137	702,464,680	17,073,903,395
第58計算期間	121,711,271	254,455,093	16,941,159,573
第59計算期間	195,469,360	352,377,998	16,784,250,935
第60計算期間	81,854,914	404,793,495	16,461,312,354
第61計算期間	41,106,441	700,575,432	15,801,843,363
第62計算期間	65,671,549	268,227,343	15,599,287,569
第63計算期間	45,622,099	352,793,523	15,292,116,145
第64計算期間	51,617,115	275,058,119	15,068,675,141
第65計算期間	41,193,120	284,344,595	14,825,523,666
第66計算期間	54,234,686	313,436,557	14,566,321,795
第67計算期間	58,453,346	167,591,983	14,457,183,158
第68計算期間	42,153,886	209,223,744	14,290,113,300
第69計算期間	46,771,517	339,906,945	13,996,977,872
第70計算期間	79,842,101	208,958,033	13,867,861,940
第71計算期間	44,159,839	256,051,241	13,655,970,538
第72計算期間	39,273,526	165,904,048	13,529,340,016
第73計算期間	72,448,939	342,189,525	13,259,599,430
第74計算期間	75,265,353	314,253,921	13,020,610,862
第75計算期間	75,296,543	190,600,242	12,905,307,163

【米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし】

（１）【投資状況】

令和 1年10月31日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（％）
投資信託受益証券	アメリカ	24,061,665,998	99.03
親投資信託受益証券	日本	1,000,299	0.00
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		234,708,189	0.97
純資産総額		24,297,374,486	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（２）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

令和 1年10月31日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （％）
アメリカ	投資信託受益証券	USエネルギーMLPファンド	56,693,823,467	0.43	24,462,899,525	0.42	24,061,665,998	99.03
日本	親投資信託受益証券	マネー・プール マザーファンド	996,215	1.0041	1,000,299	1.0041	1,000,299	0.00

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

令和 1年10月31日現在

種類	投資比率（％）
投資信託受益証券	99.03
親投資信託受益証券	0.00
合計	99.03

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および令和1年10月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位：円)

	純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1計算期間末日 (平成25年 8月13日)	22,353,300,873	22,353,300,873	9,873	9,873
第2計算期間末日 (平成25年 9月13日)	25,514,232,828	25,514,232,828	9,924	9,924
第3計算期間末日 (平成25年10月15日)	27,440,668,068	27,523,015,910	9,997	10,027
第4計算期間末日 (平成25年11月13日)	28,093,622,761	28,177,378,298	10,063	10,093
第5計算期間末日 (平成25年12月13日)	28,317,342,263	28,400,250,758	10,246	10,276
第6計算期間末日 (平成26年 1月14日)	27,828,193,199	27,906,704,093	10,634	10,664
第7計算期間末日 (平成26年 2月13日)	26,835,941,310	26,910,972,089	10,730	10,760
第8計算期間末日 (平成26年 3月13日)	25,737,734,981	25,809,722,200	10,726	10,756
第9計算期間末日 (平成26年 4月14日)	25,480,129,941	25,551,225,345	10,752	10,782
第10計算期間末日 (平成26年 5月13日)	25,872,032,199	25,941,394,911	11,190	11,220
第11計算期間末日 (平成26年 6月13日)	27,596,049,851	29,672,024,153	10,634	11,434
第12計算期間末日 (平成26年 7月14日)	47,771,471,437	47,901,080,025	11,057	11,087
第13計算期間末日 (平成26年 8月13日)	68,541,329,859	68,729,913,299	10,904	10,934
第14計算期間末日 (平成26年 9月16日)	91,190,400,142	99,739,872,181	10,666	11,666
第15計算期間末日 (平成26年10月14日)	130,428,853,263	130,828,530,881	9,790	9,820
第16計算期間末日 (平成26年11月13日)	171,472,277,972	171,939,183,577	11,018	11,048
第17計算期間末日 (平成26年12月15日)	171,144,218,476	171,661,575,420	9,924	9,954
第18計算期間末日 (平成27年 1月13日)	181,601,012,598	182,144,704,597	10,020	10,050
第19計算期間末日 (平成27年 2月13日)	185,377,790,559	185,913,417,178	10,383	10,413
第20計算期間末日 (平成27年 3月13日)	170,750,672,099	171,258,596,181	10,085	10,115
第21計算期間末日 (平成27年 4月13日)	164,246,356,550	164,721,543,248	10,369	10,399
第22計算期間末日 (平成27年 5月13日)	148,879,710,926	149,314,138,982	10,281	10,311
第23計算期間末日 (平成27年 6月15日)	127,146,102,941	127,527,844,068	9,992	10,022
第24計算期間末日 (平成27年 7月13日)	111,646,544,391	111,994,967,910	9,613	9,643
第25計算期間末日 (平成27年 8月13日)	95,289,175,043	95,605,737,120	9,030	9,060
第26計算期間末日 (平成27年 9月14日)	74,830,097,407	75,118,318,059	7,789	7,819

第27計算期間末日	(平成27年10月13日)	73,087,035,624	73,362,183,597	7,969	7,999
第28計算期間末日	(平成27年11月13日)	59,872,980,209	60,136,602,873	6,813	6,843
第29計算期間末日	(平成27年12月14日)	43,122,861,908	43,369,791,191	5,239	5,269
第30計算期間末日	(平成28年 1月13日)	35,636,865,875	35,876,483,913	4,462	4,492
第31計算期間末日	(平成28年 2月15日)	29,680,636,927	29,917,705,881	3,756	3,786
第32計算期間末日	(平成28年 3月14日)	37,620,211,901	37,856,971,253	4,767	4,797
第33計算期間末日	(平成28年 4月13日)	39,675,228,850	39,913,206,100	5,002	5,032
第34計算期間末日	(平成28年 5月13日)	44,606,473,390	44,843,957,857	5,635	5,665
第35計算期間末日	(平成28年 6月13日)	44,631,118,322	44,867,130,432	5,673	5,703
第36計算期間末日	(平成28年 7月13日)	45,515,513,274	45,750,139,294	5,820	5,850
第37計算期間末日	(平成28年 8月15日)	43,944,857,608	44,178,065,394	5,653	5,683
第38計算期間末日	(平成28年 9月13日)	43,915,550,259	44,147,608,950	5,677	5,707
第39計算期間末日	(平成28年10月13日)	44,802,423,094	45,033,694,172	5,812	5,842
第40計算期間末日	(平成28年11月14日)	45,581,701,585	45,813,381,703	5,902	5,932
第41計算期間末日	(平成28年12月13日)	51,034,876,201	51,265,265,314	6,645	6,675
第42計算期間末日	(平成29年 1月13日)	55,720,305,196	55,960,921,165	6,947	6,977
第43計算期間末日	(平成29年 2月13日)	61,094,326,861	61,345,920,183	7,285	7,315
第44計算期間末日	(平成29年 3月13日)	60,503,994,453	60,762,962,733	7,009	7,039
第45計算期間末日	(平成29年 4月13日)	58,550,117,116	58,811,130,666	6,730	6,760
第46計算期間末日	(平成29年 5月15日)	58,692,509,535	58,951,858,329	6,789	6,819
第47計算期間末日	(平成29年 6月13日)	53,186,760,950	53,445,164,214	6,175	6,205
第48計算期間末日	(平成29年 7月13日)	56,032,045,152	56,290,480,447	6,504	6,534
第49計算期間末日	(平成29年 8月14日)	51,676,978,381	51,932,095,134	6,077	6,107
第50計算期間末日	(平成29年 9月13日)	52,026,612,059	52,278,138,891	6,205	6,235
第51計算期間末日	(平成29年10月13日)	51,840,958,540	52,085,028,857	6,372	6,402
第52計算期間末日	(平成29年11月13日)	47,378,866,125	47,615,445,779	6,008	6,038
第53計算期間末日	(平成29年12月13日)	46,056,163,311	46,286,850,938	5,989	6,019
第54計算期間末日	(平成30年 1月15日)	48,073,445,347	48,297,716,543	6,431	6,461
第55計算期間末日	(平成30年 2月13日)	40,650,303,208	40,867,807,202	5,607	5,637
第56計算期間末日	(平成30年 3月13日)	38,116,797,696	38,330,251,526	5,357	5,387
第57計算期間末日	(平成30年 4月13日)	35,636,276,878	35,845,839,430	5,102	5,132
第58計算期間末日	(平成30年 5月14日)	38,027,957,264	38,235,629,532	5,493	5,523
第59計算期間末日	(平成30年 6月13日)	39,755,005,776	39,958,734,939	5,854	5,884
第60計算期間末日	(平成30年 7月13日)	38,401,654,771	38,599,679,536	5,818	5,848
第61計算期間末日	(平成30年 8月13日)	38,976,812,698	39,170,141,531	6,048	6,078
第62計算期間末日	(平成30年 9月13日)	37,181,982,305	37,371,262,280	5,893	5,923
第63計算期間末日	(平成30年10月15日)	35,252,573,186	35,437,694,493	5,713	5,743
第64計算期間末日	(平成30年11月13日)	33,197,081,267	33,379,878,193	5,448	5,478
第65計算期間末日	(平成30年12月13日)	31,297,985,401	31,477,570,288	5,228	5,258
第66計算期間末日	(平成31年 1月15日)	29,127,744,054	29,304,753,848	4,937	4,967
第67計算期間末日	(平成31年 2月13日)	30,300,963,300	30,476,596,226	5,176	5,206
第68計算期間末日	(平成31年 3月13日)	30,367,147,298	30,540,449,004	5,257	5,287
第69計算期間末日	(平成31年 4月15日)	31,374,214,052	31,546,066,878	5,477	5,507

第70計算期間末日（令和1年5月13日）	29,501,176,279	29,671,764,354	5,188	5,218
第71計算期間末日（令和1年6月13日）	27,875,352,445	28,044,821,328	4,935	4,965
第72計算期間末日（令和1年7月16日）	28,848,915,196	29,017,345,122	5,138	5,168
第73計算期間末日（令和1年8月13日）	24,849,097,628	25,016,002,241	4,466	4,496
第74計算期間末日（令和1年9月13日）	25,522,711,134	25,688,070,064	4,630	4,660
第75計算期間末日（令和1年10月15日）	24,728,252,416	24,893,612,327	4,486	4,516
平成30年10月末日	32,528,246,980		5,311	
11月末日	32,259,490,667		5,332	
12月末日	27,312,712,336		4,621	
平成31年1月末日	30,675,651,174		5,208	
2月末日	30,225,752,282		5,206	
3月末日	30,636,993,903		5,335	
4月末日	30,487,702,418		5,356	
令和1年5月末日	28,234,829,692		4,988	
6月末日	27,843,905,433		4,936	
7月末日	27,496,769,174		4,932	
8月末日	24,799,159,553		4,480	
9月末日	25,473,664,234		4,625	
10月末日	24,297,374,486		4,428	

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第1計算期間	円
第2計算期間	円
第3計算期間	30円
第4計算期間	30円
第5計算期間	30円
第6計算期間	30円
第7計算期間	30円
第8計算期間	30円
第9計算期間	30円
第10計算期間	30円
第11計算期間	800円
第12計算期間	30円
第13計算期間	30円
第14計算期間	1,000円
第15計算期間	30円
第16計算期間	30円
第17計算期間	30円
第18計算期間	30円
第19計算期間	30円

第20計算期間	30円
第21計算期間	30円
第22計算期間	30円
第23計算期間	30円
第24計算期間	30円
第25計算期間	30円
第26計算期間	30円
第27計算期間	30円
第28計算期間	30円
第29計算期間	30円
第30計算期間	30円
第31計算期間	30円
第32計算期間	30円
第33計算期間	30円
第34計算期間	30円
第35計算期間	30円
第36計算期間	30円
第37計算期間	30円
第38計算期間	30円
第39計算期間	30円
第40計算期間	30円
第41計算期間	30円
第42計算期間	30円
第43計算期間	30円
第44計算期間	30円
第45計算期間	30円
第46計算期間	30円
第47計算期間	30円
第48計算期間	30円
第49計算期間	30円
第50計算期間	30円
第51計算期間	30円
第52計算期間	30円
第53計算期間	30円
第54計算期間	30円
第55計算期間	30円
第56計算期間	30円
第57計算期間	30円
第58計算期間	30円
第59計算期間	30円
第60計算期間	30円
第61計算期間	30円
第62計算期間	30円

第63計算期間	30円
第64計算期間	30円
第65計算期間	30円
第66計算期間	30円
第67計算期間	30円
第68計算期間	30円
第69計算期間	30円
第70計算期間	30円
第71計算期間	30円
第72計算期間	30円
第73計算期間	30円
第74計算期間	30円
第75計算期間	30円

【収益率の推移】

	収益率（％）
第1計算期間	1.27
第2計算期間	0.51
第3計算期間	1.03
第4計算期間	0.96
第5計算期間	2.11
第6計算期間	4.07
第7計算期間	1.18
第8計算期間	0.24
第9計算期間	0.52
第10計算期間	4.35
第11計算期間	2.18
第12計算期間	4.25
第13計算期間	1.11
第14計算期間	6.98
第15計算期間	7.93
第16計算期間	12.84
第17計算期間	9.65
第18計算期間	1.26
第19計算期間	3.92
第20計算期間	2.58
第21計算期間	3.11
第22計算期間	0.55
第23計算期間	2.51
第24計算期間	3.49
第25計算期間	5.75

第26計算期間	13.41
第27計算期間	2.69
第28計算期間	14.12
第29計算期間	22.66
第30計算期間	14.25
第31計算期間	15.15
第32計算期間	27.71
第33計算期間	5.55
第34計算期間	13.25
第35計算期間	1.20
第36計算期間	3.12
第37計算期間	2.35
第38計算期間	0.95
第39計算期間	2.90
第40計算期間	2.06
第41計算期間	13.09
第42計算期間	4.99
第43計算期間	5.29
第44計算期間	3.37
第45計算期間	3.55
第46計算期間	1.32
第47計算期間	8.60
第48計算期間	5.81
第49計算期間	6.10
第50計算期間	2.59
第51計算期間	3.17
第52計算期間	5.24
第53計算期間	0.18
第54計算期間	7.88
第55計算期間	12.34
第56計算期間	3.92
第57計算期間	4.20
第58計算期間	8.25
第59計算期間	7.11
第60計算期間	0.10
第61計算期間	4.46
第62計算期間	2.06
第63計算期間	2.54
第64計算期間	4.11
第65計算期間	3.48
第66計算期間	4.99
第67計算期間	5.44
第68計算期間	2.14

第69計算期間	4.75
第70計算期間	4.72
第71計算期間	4.29
第72計算期間	4.72
第73計算期間	12.49
第74計算期間	4.34
第75計算期間	2.46

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配の額）を控除した額を当該基準価額（分配の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第1計算期間	22,666,758,304	25,956,441	22,640,801,863
第2計算期間	3,111,309,680	43,292,926	25,708,818,617
第3計算期間	1,855,963,435	115,501,173	27,449,280,879
第4計算期間	576,176,054	106,944,417	27,918,512,516
第5計算期間	472,570,082	754,917,500	27,636,165,098
第6計算期間	739,103,820	2,204,970,866	26,170,298,052
第7計算期間	606,944,248	1,766,982,602	25,010,259,698
第8計算期間	469,801,321	1,484,321,101	23,995,739,918
第9計算期間	893,492,722	1,190,764,476	23,698,468,164
第10計算期間	538,751,214	1,116,315,250	23,120,904,128
第11計算期間	4,861,096,291	2,032,321,638	25,949,678,781
第12計算期間	18,406,079,583	1,152,895,599	43,202,862,765
第13計算期間	20,377,393,520	719,109,564	62,861,146,721
第14計算期間	25,678,348,506	3,044,774,832	85,494,720,395
第15計算期間	49,773,350,306	2,042,197,879	133,225,872,822
第16計算期間	24,647,794,730	2,238,465,837	155,635,201,715
第17計算期間	28,592,050,180	11,774,937,124	172,452,314,771
第18計算期間	13,192,540,504	4,414,188,783	181,230,666,492
第19計算期間	4,959,127,474	7,647,587,534	178,542,206,432
第20計算期間	2,690,699,827	11,924,878,752	169,308,027,507
第21計算期間	2,280,413,691	13,192,875,139	158,395,566,059
第22計算期間	1,066,575,899	14,652,789,772	144,809,352,186
第23計算期間	961,064,577	18,523,374,409	127,247,042,354
第24計算期間	717,018,687	11,822,888,039	116,141,173,002
第25計算期間	501,473,453	11,121,953,817	105,520,692,638
第26計算期間	348,112,161	9,795,253,842	96,073,550,957
第27計算期間	191,473,463	4,549,033,356	91,715,991,064
第28計算期間	319,018,333	4,160,787,806	87,874,221,591
第29計算期間	544,834,501	6,109,294,773	82,309,761,319
第30計算期間	851,783,494	3,288,865,260	79,872,679,553

第31計算期間	815,655,350	1,665,350,109	79,022,984,794
第32計算期間	1,238,423,935	1,341,624,710	78,919,784,019
第33計算期間	1,353,540,152	947,574,033	79,325,750,138
第34計算期間	1,104,784,669	1,269,045,800	79,161,489,007
第35計算期間	1,481,214,211	1,971,999,792	78,670,703,426
第36計算期間	653,363,289	1,115,393,290	78,208,673,425
第37計算期間	974,857,164	1,447,601,755	77,735,928,834
第38計算期間	906,312,342	1,289,344,127	77,352,897,049
第39計算期間	1,225,960,074	1,488,497,721	77,090,359,402
第40計算期間	1,360,132,267	1,223,785,614	77,226,706,055
第41計算期間	2,989,291,684	3,419,626,451	76,796,371,288
第42計算期間	5,573,173,961	2,164,222,064	80,205,323,185
第43計算期間	5,376,912,589	1,717,794,913	83,864,440,861
第44計算期間	4,246,509,637	1,788,190,397	86,322,760,101
第45計算期間	2,547,177,992	1,865,421,167	87,004,516,926
第46計算期間	1,018,109,435	1,573,028,305	86,449,598,056
第47計算期間	1,306,851,882	1,622,028,469	86,134,421,469
第48計算期間	1,724,771,237	1,714,094,047	86,145,098,659
第49計算期間	930,766,648	2,036,947,329	85,038,917,978
第50計算期間	491,574,656	1,688,215,226	83,842,277,408
第51計算期間	362,096,597	2,847,601,650	81,356,772,355
第52計算期間	586,230,981	3,083,118,339	78,859,884,997
第53計算期間	442,627,325	2,406,636,620	76,895,875,702
第54計算期間	716,492,210	2,855,302,449	74,757,065,463
第55計算期間	470,141,339	2,725,875,394	72,501,331,408
第56計算期間	308,224,249	1,658,278,888	71,151,276,769
第57計算期間	454,826,369	1,751,918,962	69,854,184,176
第58計算期間	373,119,890	1,003,214,597	69,224,089,469
第59計算期間	450,847,172	1,765,215,344	67,909,721,297
第60計算期間	210,297,457	2,111,763,425	66,008,255,329
第61計算期間	221,877,759	1,787,188,692	64,442,944,396
第62計算期間	297,934,821	1,647,554,091	63,093,325,126
第63計算期間	197,884,213	1,584,106,952	61,707,102,387
第64計算期間	149,806,108	924,599,554	60,932,308,941
第65計算期間	146,940,668	1,217,620,293	59,861,629,316
第66計算期間	195,827,693	1,054,192,292	59,003,264,717
第67計算期間	233,293,397	692,249,289	58,544,308,825
第68計算期間	141,887,734	918,960,957	57,767,235,602
第69計算期間	365,161,543	848,121,718	57,284,275,427
第70計算期間	153,564,367	575,147,826	56,862,691,968
第71計算期間	174,211,553	547,275,677	56,489,627,844
第72計算期間	216,713,316	563,032,241	56,143,308,919
第73計算期間	206,617,730	715,055,569	55,634,871,080

第74計算期間	267,612,890	782,840,427	55,119,643,543
第75計算期間	477,338,050	477,011,164	55,119,970,429

(参考)

マネー・プール マザーファンド

投資状況

令和 1年10月31日現在

(単位:円)

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率(%)
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		133,019,017	100.00
純資産総額		133,019,017	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

該当事項はありません。

b 全銘柄の種類/業種別投資比率

該当事項はありません。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

参考情報

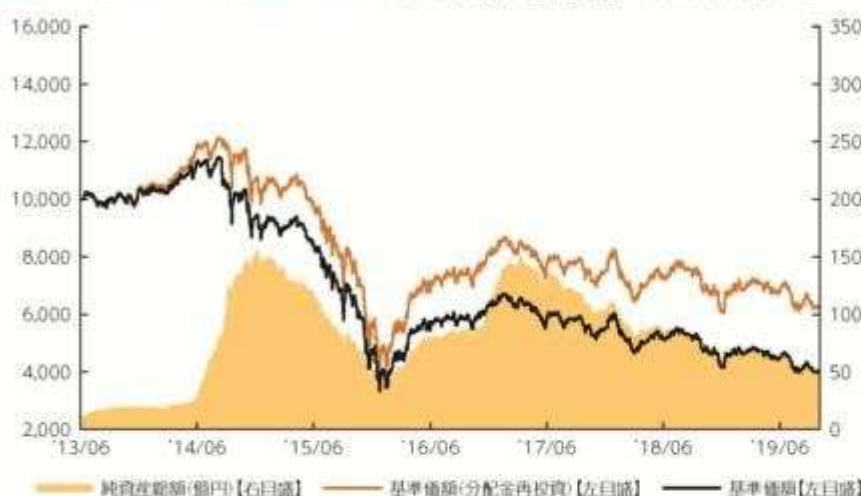


運用実績

2019年10月31日現在

為替ヘッジあり

■ 基準価額・純資産の推移 2013年6月28日(設定日)～2019年10月31日



- 基準価額、基準価額(分配金再投資)は10,000を起点として表示
- 基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■ 基準価額・純資産

基準価額	3,952円
純資産総額	50.9億円

■ 分配の推移

2019年10月	30円
2019年9月	30円
2019年8月	30円
2019年7月	30円
2019年6月	30円
2019年5月	30円
直近1年間累計	360円
設定来累計	3,130円

- 分配金は1万口当たり、税引前

■ 主要な資産の状況

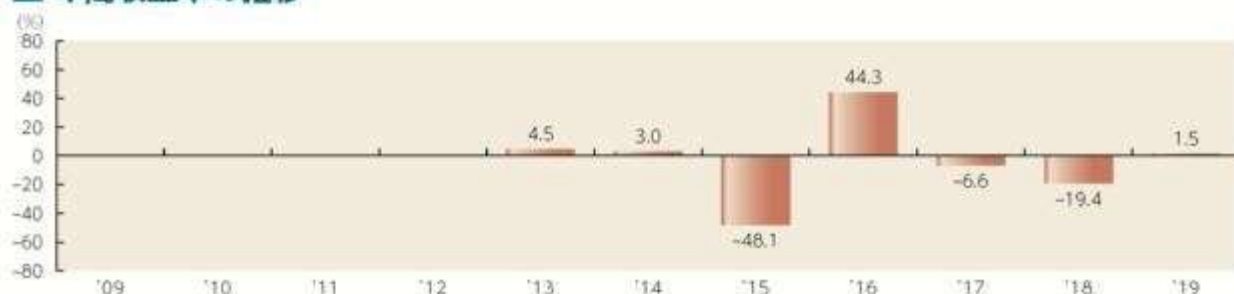
資産構成	比率
USエネルギーMLPファンド	97.8%
マネー・プール マザーファンド	0.0%
コールローン他 (負債控除後)	2.2%
合計	100.0%

- 比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

組入上位銘柄	業種	比率
1 ウィリアムズ・カンパニーズ	石油・ガス貯蔵・輸送	8.8%
2 シェル・ミッドストリーム・パートナーズ	石油・ガス貯蔵・輸送	8.8%
3 ONEOK	石油・ガス貯蔵・輸送	8.7%
4 エナジー・トランスファー	石油・ガス貯蔵・輸送	8.7%
5 エンタープライズ・プロダクツ・パートナーズ	石油・ガス貯蔵・輸送	8.5%
6 ダルガ・リソーシズ	石油・ガス貯蔵・輸送	8.5%
7 ウェスタン・ミッドストリーム・パートナーズ	石油・ガス貯蔵・輸送	7.9%
8 ニュースター・エナジー	石油・ガス精製・販売	6.3%
9 マゼラン・ミッドストリーム・パートナーズ	石油・ガス貯蔵・輸送	4.3%
10 シェニエール・エナジー	石油・ガス貯蔵・輸送	3.8%

- 比率は実質的な投資を行う外国投資信託の純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- 外国投資信託の資料に基づき作成しています(現地月末基準)。
- 外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■ 年間収益率の推移

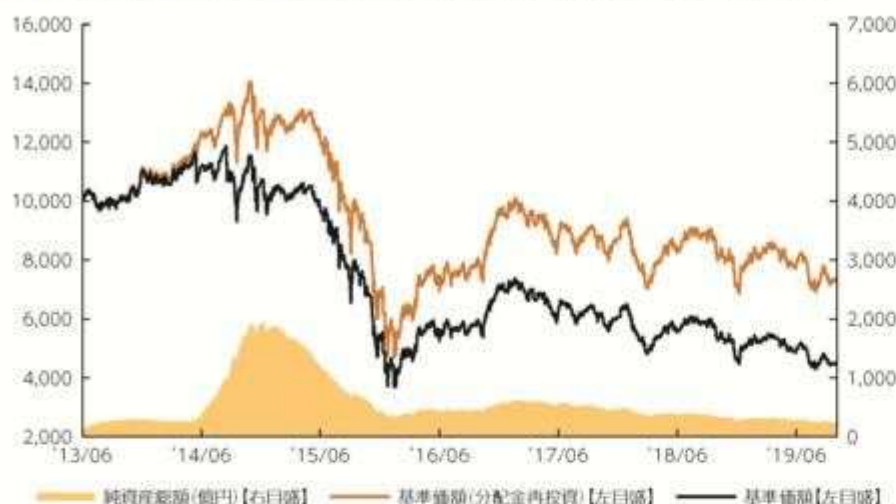


- 収益率は基準価額(分配金再投資)で計算
- 2013年は設定日から年末までの、2019年は年初から10月31日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

為替ヘッジなし

■ 基準価額・純資産の推移 2013年6月28日(設定日)～2019年10月31日



- 基準価額、基準価額(分配金再投資)は10,000を起点として表示
- 基準価額、基準価額(分配金再投資)は運用報酬(信託報酬)控除後です。

■ 基準価額・純資産

基準価額	4,428円
純資産総額	242.9億円

■ 分配の推移

2019年10月	30円
2019年9月	30円
2019年8月	30円
2019年7月	30円
2019年6月	30円
2019年5月	30円
最近1年間累計	360円
設定来累計	3,930円

•分配金は1万口当たり、税引前

■ 主要な資産の状況

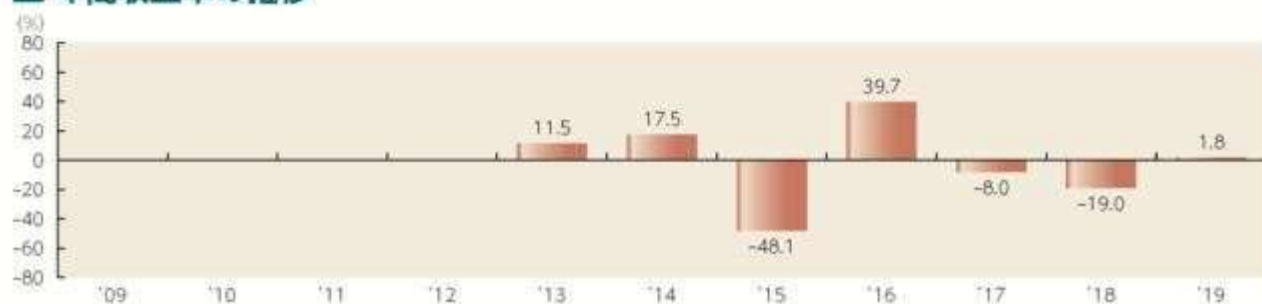
資産構成	比率
USエネルギーMLPファンド	99.0%
マネー・プール マザーファンド	0.0%
コールローン他 (負債控除後)	1.0%
合計	100.0%

- 比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

組入上位銘柄	業種	比率
1 ウィリアムズ・カンパニーズ	石油・ガス貯蔵・輸送	8.8%
2 シェル・ミッドストリーム・パートナーズ	石油・ガス貯蔵・輸送	8.8%
3 ONEOK	石油・ガス貯蔵・輸送	8.7%
4 エナジー・トランスファー	石油・ガス貯蔵・輸送	8.7%
5 エンタープライズ・プロダクツ・パートナーズ	石油・ガス貯蔵・輸送	8.5%
6 タルガ・リソーシズ	石油・ガス貯蔵・輸送	8.5%
7 ウェスタン・ミッドストリーム・パートナーズ	石油・ガス貯蔵・輸送	7.9%
8 ニュースター・エナジー	石油・ガス精製・販売	6.3%
9 マゼラン・ミッドストリーム・パートナーズ	石油・ガス貯蔵・輸送	4.3%
10 シェニエール・エナジー	石油・ガス貯蔵・輸送	3.8%

- 比率は実質的な投資を行う外国投資信託の純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- 外国投資信託の資料に基づき作成しています(現地月末基準)。
- 外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■ 年間収益率の推移



- 収益率は基準価額(分配金再投資)で計算
- 2013年は設定日から年末までの、2019年は年初から10月31日までの収益率を表示
- ファンドにベンチマークはありません。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

<訂正前>

申込みの受付

原則として、いつでも申込みができます。

ただし、以下の日は申込みができません。

ニューヨークの銀行の休業日

ニューヨーク証券取引所の休業日

取得申込者の受益権は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されます。

申込単位

販売会社が定める単位

申込価額

取得申込受付日の翌営業日の基準価額

申込価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

申込単位・申込価額の照会方法

申込単位および申込価額は、販売会社にてご確認いただけます。

また、下記においてもご照会いただけます。

三菱UFJ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

なお、申込価額は委託会社のホームページでもご覧いただけます。

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

申込手数料

申込価額（発行価格）×3.24%（税抜 3.00%）を上限として販売会社が定める手数料率

消費税率が10%となった場合は、3.30%（税抜 3.00%）となります。

申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）があり、分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）の場合、再投資される収益分配金については、申込手数料はかかりません。

申込方法

取得申込者は、販売会社に取引口座を開設のうえ、申込みを行うものとします。

取得申込者は、申込金額および申込手数料（税込）を販売会社が定める日までに支払うものとします。

なお、申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）があります。申込みコースの取扱いは販売会社により異なる場合があります。

申込受付時間

取得の申込みは、申込期間において、原則として販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社所定の方法で行われます。取得申込みが行われ、かつ当該取得申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。当該時刻を過ぎての申込みに関しては販売会社

にご確認ください。

取得申込みの受付の中止および取消し

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、取得申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた取得申込みの受付を取り消すことがあります。

また、信託金の限度額に達しない場合でも、運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、取得申込みの受付を中止することがあります。

その他

- ・ スイッチングを行う場合の取得申込みに関する取扱いも、同様とします。くわしくは販売会社にご確認ください。
- ・ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。くわしくは販売会社にご確認ください。

申込（販売）手続等の詳細に関しては販売会社にご確認ください。

<訂正後>

申込みの受付

原則として、いつでも申込みができます。

ただし、以下の日は申込みができません。

ニューヨークの銀行の休業日

ニューヨーク証券取引所の休業日

取得申込者の受益権は、振替機関等の振替口座簿に記載または記録されます。

申込単位

販売会社が定める単位

申込価額

取得申込受付日の翌営業日の基準価額

申込価額の算出頻度

原則として、委託会社の営業日に計算されます。

申込単位・申込価額の照会方法

申込単位および申込価額は、販売会社にてご確認ください。

また、下記においてもご照会いただけます。

三菱UFJ国際投信株式会社

お客様専用フリーダイヤル 0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00）

なお、申込価額は委託会社のホームページでもご覧いただけます。

ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

申込手数料

申込価額（発行価格）×3.30%（税抜 3.00%）を上限として販売会社が定める手数料率

申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）があり、分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）の場合、再投資される収益分配金につ

いては、申込手数料はかかりません。

申込方法

取得申込者は、販売会社に取引口座を開設のうえ、申込みを行うものとします。

取得申込者は、申込金額および申込手数料（税込）を販売会社が定める日までに支払うものとします。

なお、申込みには分配金受取コース（一般コース）と分配金再投資コース（自動けいぞく投資コース）があります。申込みコースの取扱いは販売会社により異なる場合があります。

申込受付時間

取得の申込みは、申込期間において、原則として販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社所定の方法で行われます。取得申込みが行われ、かつ当該取得申込みに係る販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。当該時刻を過ぎての申込みに関しては販売会社にご確認ください。

取得申込みの受付の中止および取消し

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、取得申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた取得申込みの受付を取り消すことがあります。

また、信託金の限度額に達しない場合でも、運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、取得申込みの受付を中止することがあります。

その他

- ・ スイッチングを行う場合の取得申込みに関する取扱いも、同様とします。くわしくは販売会社にご確認ください。
- ・ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。くわしくは販売会社にご確認ください。

申込（販売）手続等の詳細に関しては販売会社にご確認ください。

第3【ファンドの経理状況】

- 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 毎月決算ファンドの計算期間は6ヵ月未満であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。
- 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期（平成31年4月16日から令和1年10月15日まで）の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により監査を受けております。

1【財務諸表】

【米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり】

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

	前期 [平成31年4月15日現在]	当期 [令和1年10月15日現在]
資産の部		
流動資産		
預金	11,217,052	10,854,108
コール・ローン	132,064,477	198,789,035
投資信託受益証券	6,732,449,811	5,167,326,432
親投資信託受益証券	1,000,399	1,000,299
流動資産合計	6,876,731,739	5,377,969,874
資産合計	6,876,731,739	5,377,969,874
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	59,620,193	131,767,989
未払金	1,236,514	-
未払収益分配金	41,990,933	38,715,921
未払解約金	14,512,233	8,150,846
未払受託者報酬	197,147	154,753
未払委託者報酬	6,900,113	5,416,361
未払利息	216	45
その他未払費用	65,705	51,576
流動負債合計	124,523,054	184,257,491
負債合計	124,523,054	184,257,491
純資産の部		
元本等		
元本	13,996,977,872	12,905,307,163
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	7,244,769,187	7,711,594,780
(分配準備積立金)	1,949,529	597,554
元本等合計	6,752,208,685	5,193,712,383
純資産合計	6,752,208,685	5,193,712,383
負債純資産合計	6,876,731,739	5,377,969,874

(2)【損益及び剰余金計算書】

	前期		当期	
	自	平成30年10月16日 平成31年 4月15日	自	平成31年 4月16日 令和 1年10月15日
営業収益				
配当株式		250,968,114		225,941,478
受取利息		87,758		85,893
有価証券売買等損益		134,782,780		1,212,133,428
為替差損益		288,127,407		182,363,744
営業収益合計		171,854,315		803,742,313
営業費用				
支払利息		62,563		39,534
受託者報酬		1,106,498		965,256
委託者報酬		38,727,227		33,783,898
その他費用		392,906		350,556
営業費用合計		40,289,194		35,139,244
営業利益又は営業損失()		212,143,509		838,881,557
経常利益又は経常損失()		212,143,509		838,881,557
当期純利益又は当期純損失()		212,143,509		838,881,557
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()		10,605,152		11,282,223
期首剰余金又は期首欠損金()		7,461,753,393		7,244,769,187
剰余金増加額又は欠損金減少額		836,042,632		815,898,792
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		836,042,632		815,898,792
剰余金減少額又は欠損金増加額		155,905,688		214,408,984
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		155,905,688		214,408,984
分配金		261,614,381		240,716,067
期末剰余金又は期末欠損金()		7,244,769,187		7,711,594,780

(3)【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。 ファンドの特定期間 当ファンドは、原則として毎年4月13日および10月13日を特定期間の末日としておりますが、前特定期間および当特定期間においては当該日が休業日のため、当特定期間は平成31年 4月16日から令和 1年10月15日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

	前期 [平成31年 4月15日現在]	当期 [令和 1年10月15日現在]
1. 期首元本額	15,292,116,145円	13,996,977,872円
期中追加設定元本額	294,423,670円	386,286,301円
期中一部解約元本額	1,589,561,943円	1,477,957,010円
2. 元本の欠損 純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	7,244,769,187円	7,711,594,780円
3. 受益権の総数	13,996,977,872口	12,905,307,163口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 平成30年10月16日 至 平成31年 4月15日	当期 自 平成31年 4月16日 至 令和 1年10月15日																																																																																																																		
<p>1. 分配金の計算過程</p> <p>第64期 平成30年10月16日 平成30年11月13日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>35,371,129円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,358,290,094円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>672,200円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>1,394,333,423円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>15,068,675,141口</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F*10,000</td> <td>925円</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>30円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F*H/10,000</td> <td>45,206,025円</td> </tr> </tbody> </table> <p>第65期 平成30年11月14日 平成30年12月13日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>35,031,993円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,326,000,961円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>1,479,607円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>1,362,512,561円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>14,825,523,666口</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F*10,000</td> <td>919円</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>30円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	35,371,129円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	1,358,290,094円	分配準備積立金額	D	672,200円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,394,333,423円	当ファンドの期末残存口数	F	15,068,675,141口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	925円	1万口当たり分配金額	H	30円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	45,206,025円	項目			費用控除後の配当等収益額	A	35,031,993円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	1,326,000,961円	分配準備積立金額	D	1,479,607円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,362,512,561円	当ファンドの期末残存口数	F	14,825,523,666口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	919円	1万口当たり分配金額	H	30円	<p>1. 分配金の計算過程</p> <p>第70期 平成31年 4月16日 令和 1年 5月13日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>33,635,856円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,214,089,110円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>1,968,044円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>1,249,693,010円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>13,867,861,940口</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F*10,000</td> <td>901円</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>30円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F*H/10,000</td> <td>41,603,585円</td> </tr> </tbody> </table> <p>第71期 令和 1年 5月14日 令和 1年 6月13日</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>31,883,773円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>1,188,721,527円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>969,855円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>1,221,575,155円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>13,655,970,538口</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F*10,000</td> <td>894円</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>30円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	33,635,856円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	1,214,089,110円	分配準備積立金額	D	1,968,044円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,249,693,010円	当ファンドの期末残存口数	F	13,867,861,940口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	901円	1万口当たり分配金額	H	30円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	41,603,585円	項目			費用控除後の配当等収益額	A	31,883,773円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	1,188,721,527円	分配準備積立金額	D	969,855円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,221,575,155円	当ファンドの期末残存口数	F	13,655,970,538口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	894円	1万口当たり分配金額	H	30円
項目																																																																																																																			
費用控除後の配当等収益額	A	35,371,129円																																																																																																																	
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																																																																																	
収益調整金額	C	1,358,290,094円																																																																																																																	
分配準備積立金額	D	672,200円																																																																																																																	
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,394,333,423円																																																																																																																	
当ファンドの期末残存口数	F	15,068,675,141口																																																																																																																	
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	925円																																																																																																																	
1万口当たり分配金額	H	30円																																																																																																																	
収益分配金金額	I=F*H/10,000	45,206,025円																																																																																																																	
項目																																																																																																																			
費用控除後の配当等収益額	A	35,031,993円																																																																																																																	
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																																																																																	
収益調整金額	C	1,326,000,961円																																																																																																																	
分配準備積立金額	D	1,479,607円																																																																																																																	
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,362,512,561円																																																																																																																	
当ファンドの期末残存口数	F	14,825,523,666口																																																																																																																	
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	919円																																																																																																																	
1万口当たり分配金額	H	30円																																																																																																																	
項目																																																																																																																			
費用控除後の配当等収益額	A	33,635,856円																																																																																																																	
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																																																																																	
収益調整金額	C	1,214,089,110円																																																																																																																	
分配準備積立金額	D	1,968,044円																																																																																																																	
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,249,693,010円																																																																																																																	
当ファンドの期末残存口数	F	13,867,861,940口																																																																																																																	
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	901円																																																																																																																	
1万口当たり分配金額	H	30円																																																																																																																	
収益分配金金額	I=F*H/10,000	41,603,585円																																																																																																																	
項目																																																																																																																			
費用控除後の配当等収益額	A	31,883,773円																																																																																																																	
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																																																																																	
収益調整金額	C	1,188,721,527円																																																																																																																	
分配準備積立金額	D	969,855円																																																																																																																	
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	1,221,575,155円																																																																																																																	
当ファンドの期末残存口数	F	13,655,970,538口																																																																																																																	
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	894円																																																																																																																	
1万口当たり分配金額	H	30円																																																																																																																	

前期 自 平成30年10月16日 至 平成31年 4月15日			当期 自 平成31年 4月16日 至 令和 1年10月15日		
収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	44,476,570円	収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	40,967,911円
第66期 平成30年12月14日 平成31年 1月15日			第72期 令和 1年 6月14日 令和 1年 7月16日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	29,294,484円	費用控除後の配当等収益額	A	39,274,725円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	1,294,091,261円	収益調整金額	C	1,169,584,310円
分配準備積立金額	D	1,069,583円	分配準備積立金額	D	95,121円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	1,324,455,328円	当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	1,208,954,156円
当ファンドの期末残存口数	F	14,566,321,795口	当ファンドの期末残存口数	F	13,529,340,016口
1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	909円	1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	893円
1万口当たり分配金額	H	30円	1万口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	43,698,965円	収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	40,588,020円
第67期 平成31年 1月16日 平成31年 2月13日			第73期 令和 1年 7月17日 令和 1年 8月13日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	46,908,274円	費用控除後の配当等収益額	A	31,246,502円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	1,269,964,225円	収益調整金額	C	1,144,943,649円
分配準備積立金額	D	1,223,248円	分配準備積立金額	D	355,553円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	1,318,095,747円	当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	1,176,545,704円
当ファンドの期末残存口数	F	14,457,183,158口	当ファンドの期末残存口数	F	13,259,599,430口
1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	911円	1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	887円
1万口当たり分配金額	H	30円	1万口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	43,371,549円	収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	39,778,798円
第68期 平成31年 2月14日 平成31年 3月13日			第74期 令和 1年 8月14日 令和 1年 9月13日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	33,897,002円	費用控除後の配当等収益額	A	32,722,562円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	1,255,304,172円	収益調整金額	C	1,115,228,476円
分配準備積立金額	D	4,694,954円	分配準備積立金額	D	1,257,084円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	1,293,896,128円	当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	1,149,208,122円
当ファンドの期末残存口数	F	14,290,113,300口	当ファンドの期末残存口数	F	13,020,610,862口
1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	905円	1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	882円

前期 自 平成30年10月16日 至 平成31年 4月15日			当期 自 平成31年 4月16日 至 令和 1年10月15日		
1万口当たり分配金額	H	30円	1万口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	42,870,339円	収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	39,061,832円
第69期 平成31年 3月14日 平成31年 4月15日			第75期 令和 1年 9月14日 令和 1年10月15日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	43,911,286円	費用控除後の配当等収益額	A	30,137,127円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	1,225,380,082円	収益調整金額	C	1,100,194,617円
分配準備積立金額	D	29,176円	分配準備積立金額	D	142,633円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	1,269,320,544円	当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	1,130,474,377円
当ファンドの期末残存口数	F	13,996,977,872口	当ファンドの期末残存口数	F	12,905,307,163口
1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	906円	1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	875円
1万口当たり分配金額	H	30円	1万口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	41,990,933円	収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	38,715,921円

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

区分	前期 自 平成30年10月16日 至 平成31年 4月15日	当期 自 平成31年 4月16日 至 令和 1年10月15日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左

区分	前期 自 平成30年10月16日 至 平成31年 4月15日	当期 自 平成31年 4月16日 至 令和 1年10月15日
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	<p>当ファンドは、投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク、為替リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。</p> <p>当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。</p> <p>当ファンドは、運用の効率化を図るために、為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しております。</p> <p>当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しておりますが、ごく短期間で実際に外貨の受渡を伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。</p> <p>また、デリバティブ取引の時価等に関する事項についての契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p>	同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	<p>ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。</p> <p>また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。</p>	同左

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	前期 [平成31年 4月15日現在]	当期 [令和 1年10月15日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左

区分	前期 [平成31年 4月15日現在]	当期 [令和 1年10月15日現在]
	2.時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	前期 [平成31年 4月15日現在]	当期 [令和 1年10月15日現在]
	最終計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	最終計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
投資信託受益証券	232,054,039	168,159,714
親投資信託受益証券	99	100
合計	232,053,940	168,159,814

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

通貨関連

前期 [平成31年 4月15日現在]

区分	種類	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建				
	アメリカドル	6,428,705,191		6,488,325,384	59,620,193
合計		6,428,705,191		6,488,325,384	59,620,193

当期 [令和 1年10月15日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外 の取引	為替予約取引 売建 アメリカドル	4,967,887,020		5,099,655,009	131,767,989
合計		4,967,887,020		5,099,655,009	131,767,989

（注）時価の算定方法

- 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
 為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。
 当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
 （イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
 （ロ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。
 上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	前期 [平成31年 4月15日現在]	当期 [令和 1年10月15日現在]
1口当たり純資産額	0.4824円	0.4024円
(1万口当たり純資産額)	(4,824円)	(4,024円)

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表
 (1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

（単位：円）

通貨	種類	銘柄	口数	評価額	備考
----	----	----	----	-----	----

円	親投資信託受益証券	マネー・プール マザーファンド	996,215	1,000,299	
円合計			996,215	1,000,299	
アメリカドル	投資信託受益証券	USエネルギーMLPファンド	12,023,276,899	47,660,269.62	
アメリカドル合計			12,023,276,899	47,660,269.62 (5,167,326,432)	
合計				5,168,326,731 (5,167,326,432)	

(注1)通貨の種類ごとの小計/合計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数	組入投資信託 受益証券 時価比率	有価証券の 合計金額に 対する比率
アメリカドル	投資信託受益証券 1銘柄	100.00%	99.98%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。

【米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジなし】

(1) 【貸借対照表】

(単位:円)

	前期 [平成31年 4月15日現在]	当期 [令和 1年10月15日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	518,655,707	458,835,438
投資信託受益証券	31,074,473,889	24,504,231,371
親投資信託受益証券	1,000,399	1,000,299
未収入金	11,217,011	10,854,087
流動資産合計	31,605,347,006	24,974,921,195
資産合計	31,605,347,006	24,974,921,195
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	171,852,826	165,359,911
未払解約金	26,491,814	54,859,213
未払受託者報酬	902,410	727,970
未払委託者報酬	31,584,265	25,478,932
未払利息	849	106

	前期 [平成31年 4月15日現在]	当期 [令和 1年10月15日現在]
その他未払費用	300,790	242,647
流動負債合計	231,132,954	246,668,779
負債合計	231,132,954	246,668,779
純資産の部		
元本等		
元本	57,284,275,427	55,119,970,429
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	25,910,061,375	30,391,718,013
（分配準備積立金）	1,787,443,855	1,611,567,242
元本等合計	31,374,214,052	24,728,252,416
純資産合計	31,374,214,052	24,728,252,416
負債純資産合計	31,605,347,006	24,974,921,195

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前期 自 平成30年10月16日 至 平成31年 4月15日	当期 自 平成31年 4月16日 至 令和 1年10月15日
営業収益		
配当株式	1,144,608,434	1,055,664,709
受取利息	87,806	86,406
有価証券売買等損益	1,401,958,036	5,371,587,812
為替差損益	56,047,349	95,457,392
営業収益合計	313,309,145	4,411,294,089
営業費用		
支払利息	99,936	85,922
受託者報酬	5,009,185	4,455,233
委託者報酬	175,321,418	155,933,085
その他費用	1,703,675	1,514,011
営業費用合計	182,134,214	161,988,251
営業利益又は営業損失（ ）	495,443,359	4,573,282,340
経常利益又は経常損失（ ）	495,443,359	4,573,282,340
当期純利益又は当期純損失（ ）	495,443,359	4,573,282,340
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	29,595,362	21,729,271
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	26,454,529,201	25,910,061,375
剰余金増加額又は欠損金減少額	2,653,166,251	1,849,277,323
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	2,653,166,251	1,849,277,323
剰余金減少額又は欠損金増加額	582,671,363	773,270,554
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	582,671,363	773,270,554
分配金	1,060,179,065	1,006,110,338
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	25,910,061,375	30,391,718,013

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	---

2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。 ファンドの特定期間 当ファンドは、原則として毎年4月13日および10月13日を特定期間の末日としておりますが、前特定期間および当特定期間においては当該日が休業日のため、当特定期間は平成31年4月16日から令和1年10月15日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

	前期 [平成31年4月15日現在]	当期 [令和1年10月15日現在]
1. 期首元本額	61,707,102,387円	57,284,275,427円
期中追加設定元本額	1,232,917,143円	1,496,057,906円
期中一部解約元本額	5,655,744,103円	3,660,362,904円
2. 元本の欠損		
純資産額が元本総額を下回っており、その差額であります。	25,910,061,375円	30,391,718,013円
3. 受益権の総数	57,284,275,427口	55,119,970,429口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自平成30年10月16日 至平成31年4月15日	当期 自平成31年4月16日 至令和1年10月15日																																																												
1. 分配金の計算過程 第64期 平成30年10月16日 平成30年11月13日	1. 分配金の計算過程 第70期 平成31年4月16日 令和1年5月13日																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>163,567,121円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>5,667,016,233円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>1,961,101,585円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>7,791,684,939円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>60,932,308,941口</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F*10,000</td> <td>1,278円</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>30円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F*H/10,000</td> <td>182,796,926円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	163,567,121円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	5,667,016,233円	分配準備積立金額	D	1,961,101,585円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,791,684,939円	当ファンドの期末残存口数	F	60,932,308,941口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,278円	1万口当たり分配金額	H	30円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	182,796,926円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>158,128,428円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>5,326,536,823円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>1,770,238,641円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>7,254,903,892円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>56,862,691,968口</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F*10,000</td> <td>1,275円</td> </tr> <tr> <td>1万口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>30円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F*H/10,000</td> <td>170,588,075円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	158,128,428円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	収益調整金額	C	5,326,536,823円	分配準備積立金額	D	1,770,238,641円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,254,903,892円	当ファンドの期末残存口数	F	56,862,691,968口	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,275円	1万口当たり分配金額	H	30円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	170,588,075円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	163,567,121円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	5,667,016,233円																																																											
分配準備積立金額	D	1,961,101,585円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,791,684,939円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	60,932,308,941口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,278円																																																											
1万口当たり分配金額	H	30円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	182,796,926円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	158,128,428円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円																																																											
収益調整金額	C	5,326,536,823円																																																											
分配準備積立金額	D	1,770,238,641円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,254,903,892円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	56,862,691,968口																																																											
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,275円																																																											
1万口当たり分配金額	H	30円																																																											
収益分配金金額	I=F*H/10,000	170,588,075円																																																											
第65期	第71期																																																												

前期 自 平成30年10月16日 至 平成31年 4月15日			当期 自 平成31年 4月16日 至 令和 1年10月15日		
平成30年11月14日 平成30年12月13日			令和 1年 5月14日 令和 1年 6月13日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	159,060,589円	費用控除後の配当等収益額	A	149,596,255円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	5,572,045,138円	収益調整金額	C	5,296,948,641円
分配準備積立金額	D	1,903,808,129円	分配準備積立金額	D	1,741,499,051円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,634,913,856円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,188,043,947円
当ファンドの期末残存口数	F	59,861,629,316口	当ファンドの期末残存口数	F	56,489,627,844口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,275円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,272円
1万口当たり分配金額	H	30円	1万口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	179,584,887円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	169,468,883円
第66期 平成30年12月14日 平成31年 1月15日			第72期 令和 1年 6月14日 令和 1年 7月16日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	135,043,411円	費用控除後の配当等収益額	A	179,761,579円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	5,498,325,170円	収益調整金額	C	5,271,180,458円
分配準備積立金額	D	1,850,776,545円	分配準備積立金額	D	1,705,057,874円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,484,145,126円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,155,999,911円
当ファンドの期末残存口数	F	59,003,264,717口	当ファンドの期末残存口数	F	56,143,308,919口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,268円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,274円
1万口当たり分配金額	H	30円	1万口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	177,009,794円	収益分配金金額	I=F*H/10,000	168,429,926円
第67期 平成31年 1月16日 平成31年 2月13日			第73期 令和 1年 7月17日 令和 1年 8月13日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	212,459,135円	費用控除後の配当等収益額	A	147,491,002円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	5,462,648,728円	収益調整金額	C	5,229,876,119円
分配準備積立金額	D	1,788,159,960円	分配準備積立金額	D	1,695,327,245円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,463,267,823円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	7,072,694,366円
当ファンドの期末残存口数	F	58,544,308,825口	当ファンドの期末残存口数	F	55,634,871,080口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,274円	1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	1,271円
1万口当たり分配金額	H	30円	1万口当たり分配金額	H	30円

前期 自 平成30年10月16日 至 平成31年 4月15日			当期 自 平成31年 4月16日 至 令和 1年10月15日		
収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	175,632,926円	収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	166,904,613円
第68期 平成31年 2月14日 平成31年 3月13日			第74期 令和 1年 8月14日 令和 1年 9月13日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	157,604,375円	費用控除後の配当等収益額	A	160,429,632円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	5,394,512,596円	収益調整金額	C	5,189,451,570円
分配準備積立金額	D	1,796,816,336円	分配準備積立金額	D	1,653,025,206円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	7,348,933,307円	当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	7,002,906,408円
当ファンドの期末残存口数	F	57,767,235,602口	当ファンドの期末残存口数	F	55,119,643,543口
1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	1,272円	1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	1,270円
1万口当たり分配金額	H	30円	1万口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	173,301,706円	収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	165,358,930円
第69期 平成31年 3月14日 平成31年 4月15日			第75期 令和 1年 9月14日 令和 1年10月15日		
項目			項目		
費用控除後の配当等収益額	A	203,590,614円	費用控除後の配当等収益額	A	142,542,915円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	円
収益調整金額	C	5,361,229,063円	収益調整金額	C	5,203,963,033円
分配準備積立金額	D	1,755,706,067円	分配準備積立金額	D	1,634,384,238円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	7,320,525,744円	当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	6,980,890,186円
当ファンドの期末残存口数	F	57,284,275,427口	当ファンドの期末残存口数	F	55,119,970,429口
1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	1,277円	1万口当たり収益分配対象額	$G=E/F*10,000$	1,266円
1万口当たり分配金額	H	30円	1万口当たり分配金額	H	30円
収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	171,852,826円	収益分配金金額	$I=F*H/10,000$	165,359,911円

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

区分	前期 自 平成30年10月16日 至 平成31年 4月15日	当期 自 平成31年 4月16日 至 令和 1年10月15日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	<p>当ファンドは、投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク、為替リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。</p> <p>当ファンドは、親投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。</p> <p>当ファンドは、外貨の決済のために為替予約取引を利用しております。当該デリバティブ取引は、為替相場の変動による市場リスクおよび信用リスク等を有しておりますが、ごく短期間で実際に外貨の受渡を伴うことから、為替相場の変動によるリスクは限定的であります。</p>	同左
3.金融商品に係るリスク管理体制	<p>ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。</p> <p>また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。</p>	同左

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	前期 [平成31年 4月15日現在]	当期 [令和 1年10月15日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2.時価の算定方法	<p>(1) 有価証券</p> <p>売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p>	<p>(1) 有価証券</p> <p>同左</p>

区分	前期 [平成31年 4月15日現在]	当期 [令和 1年10月15日現在]
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>	<p>(2) デリバティブ取引 同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 同左</p> <p>同左</p>

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	前期 [平成31年 4月15日現在]	当期 [令和 1年10月15日現在]
	最終計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	最終計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
投資信託受益証券	1,071,074,779	797,438,406
親投資信託受益証券	99	100
合計	1,071,074,680	797,438,506

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	前期 [平成31年 4月15日現在]	当期 [令和 1年10月15日現在]
1口当たり純資産額	0.5477円	0.4486円
(1万口当たり純資産額)	(5,477円)	(4,486円)

(4)【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

(単位:円)

通貨	種類	銘柄	口数	評価額	備考
円	親投資信託受益証券	マネー・プール マザーファンド	996,215	1,000,299	
円合計			996,215	1,000,299	
アメリカドル	投資信託受益証券	USエネルギーMLPファンド	57,016,169,347	226,012,095.29	
アメリカドル合計			57,016,169,347	226,012,095.29 (24,504,231,371)	
合計				24,505,231,670 (24,504,231,371)	

(注1)通貨の種類ごとの小計/合計欄の()内は、邦貨換算額であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書であります。

外貨建有価証券の内訳

種類	銘柄数	組入投資信託 受益証券 時価比率	有価証券の 合計金額に 対する比率
アメリカドル	投資信託受益証券 1銘柄	100.00%	100.00%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

（参考）

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。
なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

マネー・プール マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[令和 1年10月15日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	33,020,132
現先取引勘定	99,999,950
流動資産合計	133,020,082
資産合計	133,020,082
負債の部	
流動負債	
未払解約金	35
未払利息	7
流動負債合計	42
負債合計	42
純資産の部	
元本等	
元本	132,470,610
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	549,430
元本等合計	133,020,040
純資産合計	133,020,040
負債純資産合計	133,020,082

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

該当事項はありません。

（貸借対照表に関する注記）

	[令和 1年10月15日現在]
1. 期首	平成31年 4月16日
期首元本額	158,478,271円
期中追加設定元本額	2,910,487円
期中一部解約元本額	28,918,148円
元本の内訳	
先進国高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり）2014 - 12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド（為替ヘッジなし・早期償還条項付） 2014 - 12	99,533円

	[令和 1年10月15日現在]
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり)2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし)2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	5,154,901円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	995,161円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース (毎月決算型)	2,234,005円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	28,349円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	1,013,875円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンド (年2回決算型)	6,980,105円
マネー・プール・ファンド	976,611円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	4,314,823円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース (毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) マネー・プール・ファンド (年2回決算型)	15,507,295円
米国高利回り社債ファンド(毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・円ファンド(毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・ブラジル・リアルファンド(毎月決算型)	999円
マネー・プール・ファンド	65,289,491円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ)成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジ)分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし)成長型	99,562円

	[令和 1年10月15日現在]
国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン(円ヘッジなし)分配型	99,561円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
エマージング社債オープン(毎月決算型)為替ヘッジあり	99,682円
エマージング社債オープン(毎月決算型)為替ヘッジなし	99,682円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型)メキシコ・ペソコース(毎月決算型)	19,925円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型)為替ヘッジなし	996,215円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インド・ルピーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型)インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)円コース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)円コース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)米ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)米ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)ユーロコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)ユーロコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)豪ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)豪ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)ブラジル・リアルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)メキシコ・ペソコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)メキシコ・ペソコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)トルコ・リラコース(1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型)トルコ・リラコース(毎月決算型)	9,960円

	[令和 1年10月15日現在]
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（1年決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）ロシア・ルーブルコース（毎月決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）中国元コース（1年決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）中国元コース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）南アフリカ・ランドコース（1年決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）南アフリカ・ランドコース（毎月決算型）	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（1年決算型）	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）インドネシア・ルピアコース（毎月決算型）	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンド（1年決算型）	2,655,478円
国際・キャピタル 日本株式オープン（通貨選択型）マネー・プール・ファンド（年2回決算型）	2,252,797円
欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジあり）	4,979円
欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジなし）	4,979円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース（毎月決算型）	99,562円
米国成長株オープン	996円
世界C o C o sオープン 為替プレミアムコース（毎月決算型）	9,953円
世界C o C o sオープン 為替ヘッジありコース（毎月決算型）	9,953円
世界C o C o sオープン 為替ヘッジなしコース（毎月決算型）	9,953円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジあり）年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン（為替ヘッジなし）年2回決算型	9,952円
合計	132,470,610円
2. 受益権の総数	132,470,610口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

1 金融商品の状況に関する事項

区分	自 平成31年 4月16日 至 令和 1年10月15日
1.金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。

区分	自 平成31年 4月16日 至 令和 1年10月15日
2.金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク 3.金融商品に係るリスク管理体制	当ファンドは、公社債等に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。 ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。 また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	[令和 1年10月15日現在]
1.貸借対照表計上額、時価及びその差額 2.時価の算定方法 3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	時価で計上しているためその差額はありません。 (1)有価証券 売買目的有価証券は、該当事項はありません。 (2)デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	[令和 1年10月15日現在]
1口当たり純資産額	1.0041円
(1万口当たり純資産額)	(10,041円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

2 【ファンドの現況】

【米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり】

【純資産額計算書】

令和 1年10月31日現在

(単位：円)

資産総額	5,268,936,982
負債総額	177,654,558
純資産総額 (-)	5,091,282,424
発行済口数	12,881,344,557口
1口当たり純資産価額 (/)	0.3952
(10,000口当たり)	(3,952)

【米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなし】

【純資産額計算書】

令和 1年10月31日現在

（単位：円）

資産総額	24,347,083,598
負債総額	49,709,112
純資産総額（ - ）	24,297,374,486
発行済口数	54,866,654,803口
1口当たり純資産価額（ / ）	0.4428
（10,000口当たり）	（4,428）

（参考）

マネー・プール マザーファンド

純資産額計算書

令和 1年10月31日現在

（単位：円）

資産総額	133,019,084
負債総額	67
純資産総額（ - ）	133,019,017
発行済口数	132,469,968口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.0041
（10,000口当たり）	（10,041）

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

<更新後>

(1) 資本金の額等

2019年10月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近5年間における資本金の額の増減はありません。

(2) 委託会社の機構

・会社の意思決定機構

業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務の執行を監督する機関として、取締役会を設置します。取締役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席する株主総会にてその議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。また、取締役会で決定した基本方針に基づき、経営管理全般に関する執行方針その他重要な事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置します。

・投資運用の意思決定機構

投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

運用戦略の決定

運用戦略委員会において、で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

投資行動のモニタリング1

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。

投資行動のモニタリング2

運用部から独立した管理担当部署は、運用に関するパフォーマンス測定、リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

ファンドに係る法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に係る法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、リスク管理委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

運用・管理に関する監督

内部監査担当部署は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

2【事業の内容及び営業の概況】

< 更新後 >

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業および投資助言業務を行っています。

2019年10月31日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	878	13,580,040
追加型公社債投資信託	16	1,185,334
単位型株式投資信託	71	342,647
単位型公社債投資信託	6	37,118
合計	971	15,145,139

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

3【委託会社等の経理状況】

< 更新後 >

(1) 財務諸表及び中間財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱UFJ国際投信株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和52年大蔵省令第38号）」（以下「中間財務諸表等規則」という。）第38条及び第57条の規定により、中間財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」に基づき作成しております。

なお、財務諸表及び中間財務諸表に掲載している金額については、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(2) 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第34期事業年度（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第35期事業年度に係る中間会計期間（自平成31年4月1日至令和元年9月30日）の中間財務諸表について、有限責任監査法人

トーマツにより中間監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

(単位：千円)

	第33期 (平成30年3月31日現在)		第34期 (平成31年3月31日現在)	
(資産の部)				
流動資産				
現金及び預金	2	54,140,307	2	53,969,686
有価証券		19,967		1,403,513
前払費用		362,886		514,587
未収入金		2,109		2,284
未収委託者報酬		9,770,529		9,995,458
未収収益	2	674,156	2	560,483
金銭の信託	2	30,000	2	100,000
その他		224,645		153,256
流動資産合計		65,224,602		66,699,271
固定資産				
有形固定資産				
建物	1	760,010	1	617,032
器具備品	1	724,852	1	665,247
土地		1,356,000		628,433
有形固定資産合計		2,840,863		1,910,713
無形固定資産				
電話加入権		15,822		15,822
ソフトウェア		2,654,296		3,670,753
ソフトウェア仮勘定		1,097,970		536,345
無形固定資産合計		3,768,090		4,222,921
投資その他の資産				
投資有価証券		26,361,327		21,408,781
関係会社株式		320,136		320,136
投資不動産		-	1	824,268
長期差入保証金		627,141		593,536
前払年金費用		434,700		415,234
繰延税金資産		1,237,989		1,496,180
その他		45,230		45,230
貸倒引当金		23,600		23,600
投資その他の資産合計		29,002,925		25,079,767
固定資産合計		35,611,879		31,213,401
資産合計		100,836,481		97,912,673

(単位：千円)

	第33期 (平成30年3月31日現在)		第34期 (平成31年3月31日現在)	
(負債の部)				
流動負債				
預り金		359,176		293,258
未払金				

未払収益分配金		174,333		170,281
未払償還金		456,159		448,695
未払手数料	2	3,905,670	2	3,990,054
その他未払金	2	4,330,584	2	3,961,765
未払費用	2	4,388,803	2	3,803,995
未払消費税等		99,010		194,852
未払法人税等		736,829		573,657
賞与引当金		906,167		901,135
役員賞与引当金		125,343		140,100
その他		842,194		868,992
流動負債合計		16,324,272		15,346,788
固定負債				
長期未払金		-		43,200
退職給付引当金		720,536		860,851
役員退職慰労引当金		187,562		144,303
時効後支払損引当金		254,851		247,767
固定負債合計		1,162,951		1,296,122
負債合計		17,487,223		16,642,910
(純資産の部)				
株主資本				
資本金		2,000,131		2,000,131
資本剰余金				
資本準備金		3,572,096		3,572,096
その他資本剰余金		41,160,616		41,160,616
資本剰余金合計		44,732,712		44,732,712
利益剰余金				
利益準備金		342,589		342,589
その他利益剰余金				
別途積立金		6,998,000		6,998,000
繰越利益剰余金		27,790,911		26,069,594
利益剰余金合計		35,131,500		33,410,184
株主資本合計		81,864,344		80,143,028

(単位：千円)

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,484,913	1,126,733
評価・換算差額等合計	1,484,913	1,126,733
純資産合計	83,349,257	81,269,762
負債純資産合計	100,836,481	97,912,673

(2)【損益計算書】

(単位：千円)

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)

営業収益				
委託者報酬		75,423,596		70,375,414
投資顧問料		2,723,458		2,505,299
その他営業収益		48,215		18,844
営業収益合計		78,195,269		72,899,557
営業費用				
支払手数料	2	30,906,879	2	28,533,952
広告宣伝費		730,784		739,643
公告費		1,000		500
調査費				
調査費		1,723,057		1,794,755
委託調査費		13,467,029		12,194,996
事務委託費		864,916		1,016,816
営業雑経費				
通信費		178,652		170,794
印刷費		467,973		427,442
協会費		50,251		48,375
諸会費		15,328		16,175
事務機器関連費		1,635,079		1,841,631
その他営業雑経費		23,250		-
営業費用合計		50,064,204		46,785,083
一般管理費				
給料				
役員報酬		349,359		349,083
給料・手当		6,421,837		6,453,717
賞与引当金繰入		906,167		901,135
役員賞与引当金繰入		125,343		140,100
福利厚生費		1,231,033		1,234,293
交際費		13,012		13,011
旅費交通費		192,192		200,426
租税公課		410,229		373,201
不動産賃借料		678,182		654,886
退職給付費用		423,171		428,912
役員退職慰労引当金繰入		47,889		51,159
固定資産減価償却費		1,115,719		1,252,321
諸経費		450,299		523,213
一般管理費合計		12,364,437		12,575,461
営業利益		15,766,627		13,539,012

(単位：千円)

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
営業外収益		
受取配当金	349,402	181,073
受取利息	2 483	2 1,913
投資有価証券償還益	81,580	416,706
収益分配金等時効完成分	91,672	44,392
受取賃貸料	-	2 38,388
その他	9,989	11,871

営業外収益合計		533,128		694,346
営業外費用				
投資有価証券償還損		30,114		118,173
時効後支払損引当金繰入		43,182		1,166
事務過誤費		10,402		420
賃貸関連費用		-		35,994
その他		3,829		1,481
営業外費用合計		87,529		157,235
経常利益		16,212,226		14,076,123
特別利益				
投資有価証券売却益		516,394		501,778
ゴルフ会員権売却益		7,495		
特別利益合計		523,889		501,778
特別損失				
投資有価証券売却損		105,903		135,399
投資有価証券評価損		102,096		62,310
固定資産除却損	1	54	1	4,848
固定資産売却損		-		225
システム関連費		-		322,986
商標使用料		-		90,000
特別損失合計		208,054		615,770
税引前当期純利益		16,528,061		13,962,130
法人税、住民税及び事業税	2	5,252,224	2	4,420,179
法人税等調整額		76,092		100,112
法人税等合計		5,176,132		4,320,066
当期純利益		11,351,928		9,642,064

(3) 【株主資本等変動計算書】

第33期（自平成29年4月1日 至平成30年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
					別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	43,034,713	50,375,303	97,108,147
当期変動額									
剰余金の配当							26,595,731	26,595,731	26,595,731
当期純利益							11,351,928	11,351,928	11,351,928
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計							15,243,802	15,243,802	15,243,802
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,790,911	35,131,500	81,864,344

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,494,586	1,494,586	98,602,734
当期変動額			
剰余金の配当			26,595,731
当期純利益			11,351,928

株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	9,673	9,673	9,673
当期変動額合計	9,673	9,673	15,253,476
当期末残高	1,484,913	1,484,913	83,349,257

第34期（自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			利益剰余金 合計	
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計	利益 準備金	その他利益剰余金			
					別途 積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,790,911	35,131,500	81,864,344
当期変動額									
剰余金の配当							11,363,380	11,363,380	11,363,380
当期純利益							9,642,064	9,642,064	9,642,064
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計							1,721,316	1,721,316	1,721,316
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	26,069,594	33,410,184	80,143,028

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,484,913	1,484,913	83,349,257
当期変動額			
剰余金の配当			11,363,380
当期純利益			9,642,064
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	358,179	358,179	358,179
当期変動額合計	358,179	358,179	2,079,495
当期末残高	1,126,733	1,126,733	81,269,762

[注記事項]

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5年～50年
器具備品	2年～20年
投資不動産	3年～47年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採

用しております。

3. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(6) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

税抜方式を採用しており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(表示方法の変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当事業年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」490,903千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」1,237,989千円に含めて表示しております。

(未適用の会計基準等)

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会）
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会）

(1) 概要

国際会計基準審議会（IASB）及び米国財務会計基準審議会（FASB）は、共同して収益認識に関する包括的な会計基準の開発を行い、平成26年5月に「顧客との契約から生じる収益」（IASBにおいてはIFRS第15号、FASBにおいてはTopic606）を公表しており、IFRS第15号は平成30年1月1日以後開始する事業年度から、Topic606は平成29年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針と合わ

せて公表されたものです。

企業会計基準委員会の収益認識に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、IFRS第15号と整合性を図る便益の1つである財務諸表間の比較可能性の観点から、IFRS第15号の基本的な原則を取り入れることを出発点とし、会計基準を定めることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮すべき項目がある場合には、比較可能性を損なわない範囲で代替的な取扱いを追加することとされており、

(2)適用予定日

令和4年3月期の期首から適用します。

(3)当該会計基準等の適用による影響

「収益認識に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

(貸借対照表関係)

1.有形固定資産及び投資不動産の減価償却累計額

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
建物	604,123千円	551,025千円
器具備品	1,215,234千円	1,350,407千円
投資不動産		138,024千円

2.関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
預金	41,809,118千円	240,211千円
未収収益	40,621千円	25,307千円
金銭の信託	30,000千円	100,000千円
未払手数料	1,577,059千円	671,568千円
その他未払金	3,850,734千円	3,217,341千円
未払費用	430,491千円	444,754千円

(損益計算書関係)

1.固定資産除却損の内訳

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
建物		2,547千円
器具備品	54千円	2,301千円
計	54千円	4,848千円

2.関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
支払手数料	11,380,244千円	5,298,064千円
受取利息	380千円	3千円
受取賃貸料		38,388千円
法人税、住民税及び事業税	3,851,536千円	3,216,517千円

(株主資本等変動計算書関係)

第33期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

1.発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度増加 株式数 (株)	当事業年度減少 株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成29年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	26,595,731千円
1株当たり配当額	125,700円
基準日	平成29年3月31日
効力発生日	平成29年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成30年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	11,363,380千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	53,707円
基準日	平成30年3月31日
効力発生日	平成30年6月28日

第34期(自平成30年4月1日至平成31年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度増加 株式数 (株)	当事業年度減少 株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成30年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	11,363,380千円
1株当たり配当額	53,707円
基準日	平成30年3月31日
効力発生日	平成30年6月28日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

令和元年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	9,675,175千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	45,728円
基準日	平成31年3月31日
効力発生日	令和 元年6月27日

(リース取引関係)

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
1年内	678,116千円	675,956千円
1年超	1,351,912千円	675,956千円
合計	2,030,029千円	1,351,912千円

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、譲渡性預金または投資信託に限定しており、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

第33期(平成30年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 現金及び預金	54,140,307	54,140,307	-
(2) 有価証券	19,967	19,967	-
(3) 未収委託者報酬	9,770,529	9,770,529	-
(4) 投資有価証券	26,224,167	26,224,167	-
資産計	90,154,972	90,154,972	-
(1) 未払手数料	3,905,670	3,905,670	-
負債計	3,905,670	3,905,670	-

第34期(平成31年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 現金及び預金	53,969,686	53,969,686	-
(2) 有価証券	1,403,513	1,403,513	-
(3) 未収委託者報酬	9,995,458	9,995,458	-
(4) 投資有価証券	21,353,421	21,353,421	-
資産計	86,722,080	86,722,080	-
(1) 未払手数料	3,990,054	3,990,054	-
負債計	3,990,054	3,990,054	-

（注1）金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、(3) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券、(4) 投資有価証券

これらはすべて投資信託であり、時価は基準価額によっております。

負 債

(1) 未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

（単位：千円）

区分	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
非上場株式	137,160	55,360
子会社株式	160,600	160,600
関連会社株式	159,536	159,536

非上場株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第33期(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	54,140,307	-	-	-
未収委託者報酬	9,770,529	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	19,967	13,110,758	8,593,680	68,714
合計	63,930,804	13,110,758	8,593,680	68,714

第34期(平成31年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	53,969,686	-	-	-
未収委託者報酬	9,995,458	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	1,403,513	9,358,708	5,874,634	90,573
合計	65,368,659	9,358,708	5,874,634	90,573

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式(当事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円、前事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

2. その他有価証券

第33期(平成30年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	18,599,111	16,040,884	2,558,227
	小計	18,599,111	16,040,884	2,558,227
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	7,645,023	8,062,990	417,966
	小計	7,645,023	8,062,990	417,966
合計		26,244,135	24,103,874	2,140,260

第34期(平成31年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	14,744,545	12,559,380	2,185,164
	小計	14,744,545	12,559,380	2,185,164
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	8,012,389	8,573,551	561,161
	小計	8,012,389	8,573,551	561,161
合計		22,756,935	21,132,932	1,624,002

3. 売却したその他有価証券

第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	8,169,769	516,394	105,903
合計	8,169,769	516,394	105,903

第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	140,240	58,440	-
債券	-	-	-
その他	5,222,594	443,338	135,399
合計	5,362,834	501,778	135,399

4. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について102,096千円（その他有価証券のその他102,096千円）減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について62,310千円（その他有価証券のその他62,310千円）減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度（積立型制度）及び退職一時金制度（非積立型制度）を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
退職給付債務の期首残高	3,649,089 千円	3,729,252 千円
勤務費用	184,120	193,531
利息費用	27,829	24,351
数理計算上の差異の発生額	56,895	15,898
退職給付の支払額	188,683	218,947
過去勤務費用の発生額	-	-
退職給付債務の期末残高	3,729,252	3,712,289

(2)年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
年金資産の期首残高	2,698,738 千円	2,723,393 千円
期待運用収益	48,080	48,664
数理計算上の差異の発生 額	47,759	4,606
事業主からの拠出額	102,564	102,564
退職給付の支払額	173,748	203,077
年金資産の期末残高	2,723,393	2,666,937

(3)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
積立型制度の退職給付債務	3,374,562 千円	3,125,760 千円
年金資産	2,723,393	2,666,937
非積立型制度の退職給付債務	651,168	458,822
未積立退職給付債務	354,690	586,529
未積立退職給付債務	1,005,858	1,045,351
未認識数理計算上の差異	169,893	114,968
未認識過去勤務費用	550,128	484,766
貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	285,836	445,616
退職給付引当金	720,536	860,851
前払年金費用	434,700	415,234
貸借対照表に計上された負債と 資産の純額	285,836	445,616

(4)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
勤務費用	184,120 千円	193,531 千円
利息費用	27,829	24,351
期待運用収益	48,080	48,664
数理計算上の差異の費用処理 額	47,053	43,633
過去勤務費用の費用処理額	65,361	65,361
その他	4,780	5,986
確定給付制度に係る退職給付 費用	281,066	284,199

(注)「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額等です。

(5)年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
債券	62.2 %	63.9 %
株式	34.7	33.2
その他	3.1	2.9

合計	100	100
----	-----	-----

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
割引率	0.069～0.67%	0.035～0.49%
長期期待運用収益率	1.5～1.8%	1.5～1.8%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度142,105千円、当事業年度144,712千円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第33期 (平成30年3月31日現在)	第34期 (平成31年3月31日現在)
繰延税金資産		
減損損失	445,379千円	436,050千円
投資有価証券評価損	223,512	223,821
未払事業税	135,805	109,109
賞与引当金	277,468	275,927
役員賞与引当金	12,235	19,428
役員退職慰労引当金	57,431	44,185
退職給付引当金	220,628	263,592
減価償却超過額	13,690	157,741
委託者報酬	257,879	264,398
長期差入保証金	23,262	31,721
時効後支払損引当金	78,035	75,866
連結納税適用による時価評価	200,331	148,858
その他	82,168	71,320
繰延税金資産 小計	2,027,829	2,122,023
評価性引当額	-	-
繰延税金資産 合計	2,027,829	2,122,023
繰延税金負債		
前払年金費用	133,105	127,144
連結納税適用による時価評価	1,382	1,320
その他有価証券評価差額金	655,348	497,269
その他	4	108
繰延税金負債 合計	789,840	625,842
繰延税金資産の純額	1,237,989	1,496,180

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

第33期（平成30年3月31日現在）及び第34期（平成31年3月31日現在）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）及び第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）及び第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注4)	科目	期末残高(注4)
親会社	(株)三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に 伴う支払 (注1)	3,851,587 千円	その他未払金	3,850,734 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行(株)	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 51.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,528,131 千円	未払手数料	665,262 千円
						投資の助言 役員の兼任	投資助言料 (注3)	664,152 千円	未払費用	348,142 千円
主要株主	(株)三菱東京 UFJ銀行 (注5)	東京都 千代田 区	1,711,958 百万円	銀行業	被所有 直接 15.0%	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,852,112 千円	未払手数料	921,796 千円

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注4)	科目	期末残高(注4)
親会社	㈱三菱UFJ フィナンシャル・ グループ	東京都 千代田 区	2,141,513 百万円	銀行持株 会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に 伴う支払 (注1)	3,216,517 千円	その他未払金	3,217,341 千円
親会社	三菱UFJ 信託銀行㈱	東京都 千代田 区	324,279 百万円	信託業、 銀行業	被所有 直接 100.0%	当社投資信託の 募集の取扱い及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	5,298,064 千円	未払手数料	671,568 千円
						投資の助言 役員の兼任	投資助言料 (注3)	695,834 千円	未払費用	365,510 千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 1. 連結納税制度に基づく連結法人税の支払予定額であります。

2. 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

3. 投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。

4. 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

5. ㈱三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で、㈱三菱UFJ銀行に行名を変更しております。

(2)財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注4)	科目	期末残高(注4)
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・ スタンレー 証券㈱	東京都 千代田 区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の 募集の取扱い及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払 (注2)	6,263,571 千円	未払手数料	907,290 千円

第34期（自平成30年4月1日至平成31年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注4)	科目	期末残高(注4)

同一の親会社を持つ会社	㈱三菱UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958 百万円	銀行業	なし (注1)	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払 (注2)	4,629,670 千円	未払手数料	734,633 千円
						取引銀行	コーラブル預金の預入 (注3)	20,000,000 千円	現金及び預金	20,000,000 千円
							コーラブル預金に係る受取利息 (注3)	1,578 千円	未収収益	1,578 千円
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券㈱	東京都千代田区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払 (注2)	6,152,016 千円	未払手数料	962,840 千円

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. ㈱三菱UFJ銀行は、平成30年4月2日付で、保有する当社株式のすべてを㈱三菱UFJフィナンシャル・グループに対して現物配当しております。その結果、㈱三菱UFJ銀行は当社の主要株主から同一の親会社を持つ会社に該当することとなりました。
なお、㈱三菱UFJフィナンシャル・グループは、同日付で、取得した当社株式のすべてを会社分割の方法により三菱UFJ信託銀行㈱に対して承継させております。
- 投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。
 - 預金利率の条件は、市場金利等を勘案して決定しております。なお、預入期間は1年であります。
 - 上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

2. 親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場）

三菱UFJ信託銀行株式会社（非上場）

（1株当たり情報）

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
1株当たり純資産額	393,935.45円	384,107.08円
1株当たり当期純利益金額	53,652.87円	45,571.50円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	第34期 (自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)
当期純利益金額（千円）	11,351,928	9,642,064
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る当期純利益金額（千円）	11,351,928	9,642,064

普通株式の期中平均株式数 (株)	211,581	211,581
------------------	---------	---------

中間財務諸表

(1)中間貸借対照表

(単位：千円)

第35期中間会計期間 (令和元年9月30日現在)		
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金		46,350,665
有価証券		3,906,355
前払費用		620,446
未収入金		8,561
未収委託者報酬		10,170,592
未収収益		585,312
金銭の信託		100,000
その他		134,705
流動資産合計		61,876,640
固定資産		
有形固定資産		
建物	1	603,277
器具備品	1	794,065
土地		628,433
有形固定資産合計		2,025,776
無形固定資産		
電話加入権		15,822
ソフトウェア		3,390,287
ソフトウェア仮勘定		1,024,221
無形固定資産合計		4,430,330
投資その他の資産		
投資有価証券		18,792,024
関係会社株式		320,136
投資不動産	1	822,988
長期差入保証金		579,291
前払年金費用		420,773
繰延税金資産		1,420,372
その他		45,230
貸倒引当金		23,600
投資その他の資産合計		22,377,216
固定資産合計		28,833,324
資産合計		90,709,964

(単位：千円)

第35期中間会計期間 (令和元年9月30日現在)		
(負債の部)		
流動負債		
預り金		290,587
未払金		
未払収益分配金		131,632
未払償還金		424,093
未払手数料		4,009,808
その他未払金		2,100,383

未払費用		3,020,441
未払消費税等	2	381,045
未払法人税等		651,051
賞与引当金		924,061
役員賞与引当金		62,295
その他		900,753
流動負債合計		12,896,152
固定負債		
長期未払金		32,400
退職給付引当金		940,446
役員退職慰労引当金		107,709
時効後支払損引当金		243,873
固定負債合計		1,324,430
負債合計		14,220,582
(純資産の部)		
株主資本		
資本金		2,000,131
資本剰余金		
資本準備金		3,572,096
その他資本剰余金		41,160,616
資本剰余金合計		44,732,712
利益剰余金		
利益準備金		342,589
その他利益剰余金		
別途積立金		6,998,000
繰越利益剰余金		21,264,872
利益剰余金合計		28,605,462
株主資本合計		75,338,306

(単位：千円)

第35期中間会計期間
(令和元年9月30日現在)

評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		1,151,075
評価・換算差額等合計		1,151,075
純資産合計		76,489,381
負債純資産合計		90,709,964

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

第35期中間会計期間
(自 平成31年4月1日
至 令和元年9月30日)

営業収益		
委託者報酬		34,073,281
投資顧問料		1,143,410
その他営業収益		8,361
営業収益合計		35,225,053
営業費用		
支払手数料		13,714,724
広告宣伝費		252,678
公告費		250
調査費		

調査費		911,961
委託調査費		5,769,907
事務委託費		351,511
営業雑経費		
通信費		78,084
印刷費		218,610
協会費		25,207
諸会費		8,034
事務機器関連費		931,984
営業費用合計		22,262,956
一般管理費		
給料		
役員報酬		177,096
給料・手当		2,873,051
賞与引当金繰入		924,061
役員賞与引当金繰入		62,295
福利厚生費		635,789
交際費		4,597
旅費交通費		97,388
租税公課		193,484
不動産賃借料		327,917
退職給付費用		212,710
役員退職慰労引当金繰入		25,108
固定資産減価償却費	1	647,817
諸経費		177,080
一般管理費合計		6,358,399
営業利益		6,603,697

(単位：千円)

第35期中間会計期間

(自平成31年4月1日

至令和元年9月30日)

営業外収益		
受取配当金		34,517
受取利息		2,101
投資有価証券償還益		327,868
収益分配金等時効完成分		73,834
受取賃貸料		32,904
その他		15,364
営業外収益合計		486,590
営業外費用		
投資有価証券償還損		46,457
賃貸関連費用	1	12,337
その他		175
営業外費用合計		58,970
経常利益		7,031,318
特別利益		
投資有価証券売却益		53,850
特別利益合計		53,850
特別損失		
投資有価証券売却損		36,721
投資有価証券評価損		17,395
固定資産除却損		37
固定資産売却損		435

特別損失合計	54,589
税引前中間純利益	7,030,579
法人税、住民税及び事業税	2,095,061
法人税等調整額	65,064
法人税等合計	2,160,126
中間純利益	4,870,453

(3)中間株主資本等変動計算書

第35期中間会計期間(自平成31年4月1日至令和元年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	26,069,594	33,410,184	80,143,028
当中間期変動額									
剰余金の配当							9,675,175	9,675,175	9,675,175
中間純利益							4,870,453	4,870,453	4,870,453
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)									
当中間期変動額合計							4,804,722	4,804,722	4,804,722
当中間期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	21,264,872	28,605,462	75,338,306

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,126,733	1,126,733	81,269,762
当中間期変動額			
剰余金の配当			9,675,175
中間純利益			4,870,453
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	24,341	24,341	24,341
当中間期変動額合計	24,341	24,341	4,780,380
当中間期末残高	1,151,075	1,151,075	76,489,381

[重要な会計方針]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5年～50年
器具備品	2年～20年
投資不動産	3年～47年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。

(6) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

[注記事項]

(中間貸借対照表関係)

1 減価償却累計額

	第35期中間会計期間 (令和元年9月30日現在)
建物	575,110千円
器具備品	1,377,937千円
投資不動産	141,659千円

2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。

(中間損益計算書関係)

1 減価償却実施額

	第35期中間会計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
有形固定資産	85,187千円
無形固定資産	562,630千円
投資不動産	3,634千円

(中間株主資本等変動計算書関係)

第35期中間会計期間(自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当中間会計期間 増加株式数 (株)	当中間会計期間 減少株式数 (株)	当中間会計期間末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

令和元年6月26日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	9,675,175千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	45,728円
基準日	平成31年3月31日
効力発生日	令和元年6月27日

(リース取引関係)

第35期中間会計期間(令和元年9月30日現在)

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

1年内	675,956千円
1年超	337,978千円
合計	1,013,934千円

(金融商品関係)

第35期中間会計期間(令和元年9月30日現在)

金融商品の時価等に関する事項

令和元年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

	中間貸借対照表計 上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 現金及び預金	46,350,665	46,350,665	-
(2) 有価証券	3,906,355	3,906,355	-
(3) 未収委託者報酬	10,170,592	10,170,592	-
(4) 投資有価証券	18,736,664	18,736,664	-
資産計	79,164,277	79,164,277	-
(1) 未払手数料	4,009,808	4,009,808	-

負債計	4,009,808	4,009,808	-
-----	-----------	-----------	---

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、(3) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券、(4) 投資有価証券

これらはすべて投資信託であり、時価は基準価額によっております。

負 債

(1) 未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

非上場株式(中間貸借対照表計上額55,360千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式(中間貸借対照表計上額 関係会社株式320,136千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

(注3) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(有価証券関係)

第35期中間会計期間(令和元年9月30日現在)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式(中間貸借対照表計上額 関係会社株式320,136千円)は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

2. その他有価証券

	種類	中間貸借対照表 計上額(千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
中間貸借対照表計 上額が取得原価を 超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	16,466,321	14,354,198	2,112,123
	小 計	16,466,321	14,354,198	2,112,123
中間貸借対照表計 上額が取得原価を 超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	6,176,697	6,629,733	453,035
	小 計	6,176,697	6,629,733	453,035
合 計		22,643,019	20,983,931	1,659,087

(注) 非上場株式(中間貸借対照表計上額55,360千円)については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難であると認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3. 減損処理を行った有価証券

当中間会計期間において、有価証券について17,395千円(その他有価証券のその他17,395千円)減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、中間期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

第35期中間会計期間（自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第35期中間会計期間（自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第35期中間会計期間 (令和元年9月30日現在)
1株当たり純資産額 (算定上の基礎)	361,513.47円
純資産の部の合計額(千円)	76,489,381
普通株式に係る中間期末の純資産額(千円)	76,489,381
1株当たり純資産額の算定に用いられた 中間期末の普通株式の数(株)	211,581

1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第35期中間会計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
1株当たり中間純利益金額 (算定上の基礎)	23,019.33円
中間純利益金額(千円)	4,870,453
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る中間純利益金額(千円)	4,870,453
普通株式の期中平均株式数(株)	211,581

(注)潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

<更新後>

(1) 受託会社

名称：三菱UFJ信託銀行株式会社

(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

資本金の額：324,279百万円(2019年3月末現在)

事業の内容：銀行業務および信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名称	資本金の額 (2019年3月末現在)	事業の内容
株式会社三菱UFJ銀行	1,711,958 百万円	銀行業務を営んでいます。
株式会社福岡銀行	82,329 百万円	銀行業務を営んでいます。
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279 百万円	銀行業務および信託業務を営んでいます。
株式会社新生銀行	512,204 百万円	銀行業務を営んでいます。
株式会社東日本銀行	38,300 百万円	銀行業務を営んでいます。
株式会社大光銀行	10,000 百万円	銀行業務を営んでいます。
株式会社トマト銀行	17,810 百万円	銀行業務を営んでいます。
阿波証券株式会社	100 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
auカブコム証券株式会社	7,196 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
エース証券株式会社	8,831 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
PWM日本証券株式会社	3,000 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社SBI証券	48,323 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
岡三証券株式会社	5,000 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
大万証券株式会社	300 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
楽天証券株式会社	7,495 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
東海東京証券株式会社	6,000 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
とうほう証券株式会社	3,000 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
第四北越証券株式会社	600 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
西村証券株式会社	500 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
FFG証券株式会社	3,000 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	40,500 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社千葉興業銀行	62,120 百万円	銀行業務を営んでいます。
ワイエム証券株式会社	1,270 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

3【資本関係】

<訂正前>

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。(2019年4月末現在)

三菱UFJ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%(211,581株)を所有しています。

(注)関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株

比率が3%以上のものを記載しています。

<訂正後>

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。(2019年10月末現在)

三菱UFJ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%(211,581株)を所有しています。

(注)関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

独立監査人の監査報告書

令和1年11月20日

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 大畑 茂 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 和田 渉 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジありの平成31年4月16日から令和1年10月15日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジありの令和1年10月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

令和1年11月20日

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 大畑 茂 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 和田 渉 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなしの平成31年4月16日から令和1年10月15日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジなしの令和1年10月15日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

令和元年6月26日

三菱UFJ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

青木 裕晃 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

伊藤 鉄也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ国際投信株式会社の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第34期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJ国際投信株式会社の平成31年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

令和元年12月3日

三菱UFJ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 青木 裕晃 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 鉄也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ国際投信株式会社の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第35期事業年度の中間会計期間（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJ国際投信株式会社の令和元年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。